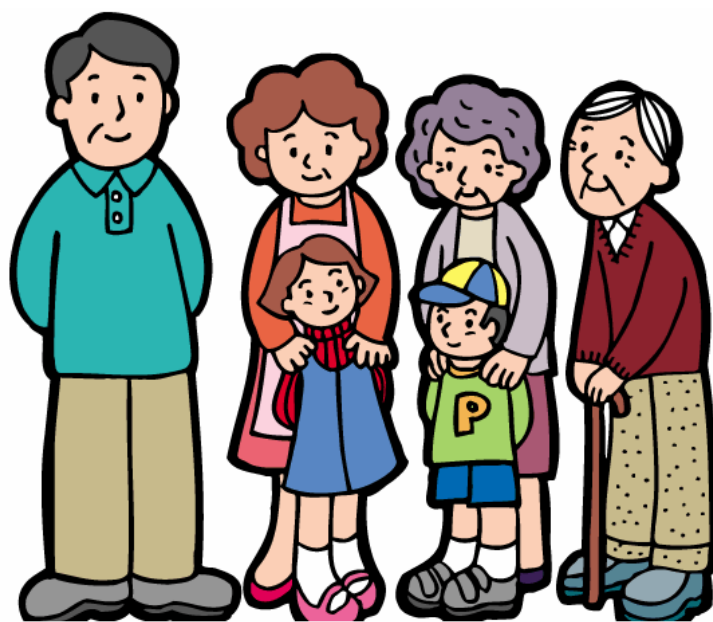


基本計画策定のための  
市民アンケート  
報告書



平成 20 年（2008 年）9 月

横 須 賀 市



## はじめに

横須賀市では、平成10年に策定した横須賀市総合計画にもとづき、「国際海の手文化都市」を目指したまちづくりを進めています。この総合計画は市政運営の方向性を示す最も上位の計画で、平成37年を目標としてまちづくりの基本的方向を示した「基本構想」、その期間をおおむね二分して施策の体系を示した「基本計画」、3年ごとの主要事業を示した「実施計画」の3つによって構成されています。このうち、基本計画の計画期間が平成22年をもって終了するため、今年度から平成23年にスタートする新たな基本計画の策定作業をはじめました。

今日、わが国の社会経済環境に目を向ければ、少子高齢化の進行、グローバル化の進展、地球規模での環境問題の深刻化など、急激に変化しており、地域社会や市民生活にも大きな影響を及ぼしています。今後の地方自治体には、増大する行政需要への対応が迫られています。一方、厳しい財政状況が続くと予測されるため、限られた資源のなかで、効率的かつ効果的な行政運営を行うことが求められています。

このような状況の中、新たな基本計画では、長期的な視点から時代の潮流や重要な課題を正確に読み取るのももちろんのこと、市民の皆さまの意見や要望の変化を的確に捉えたものにすることを目指しています。

そこで今回、15歳以上の5,000人の方を対象に、今後の横須賀市における施策の力点などを伺うためのアンケート調査を実施しました。この調査で得られた結果は、基本計画のみならず、分野別計画などを策定する際の基礎資料として十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには厚くお礼申し上げます。

平成20年(2008年)9月

横須賀市都市政策研究所

### 報告書の見方

報告書の中の集計表は、以下のように処理している。

回答率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%とならない場合がある。

「回答数」は回答資格者総数から「無回答」を差し引いた数である。

## 目 次

I . 調査目的および実施方法等 .....	1
II . 調査結果の概要 .....	3
III . 集計結果 .....	6
1 . 横須賀の魅力的なところ (問 1 ) .....	6
2 . 横須賀の都市イメージ (問 2 ) .....	7
3 . 横須賀のシンボル (問 3 ) .....	9
4 . 色にたとえた横須賀のイメージ (問 4 ) .....	10
5 . 横須賀の住み良さ (問 5 ) .....	11
6 . 横須賀市への定住意向 (問 6 ) .....	14
7 . 産業政策に関する今後の力点 (問 7 ) .....	19
8 . 商店街の活性化に関する今後の力点 (問 8 ) .....	20
9 . 子育て施策に関する今後の力点 (問 9 ) .....	21
10 . 高齢者福祉施策に関する今後の力点 (問 10 ) .....	24
11 . 安全・安心のための今後の力点 (問 11 ) .....	27
12 . 防災意識向上に求められること (問 12 ) .....	30
13 . 学校教育に求められること (問 13 ) .....	31
14 . 生涯学習に関する今後の力点 (問 14 ) .....	34
15 . 環境政策に関する今後の力点 (問 15 ) .....	35
16 . 市民参加型事業への参加状況 (問 16 ) .....	37
17 . 男女共同参画に関する今後の力点 (問 17 ) .....	44
18 . 市ホームページの機能充実 (問 18 ) .....	47
19 . 施設に対するニーズ (問 19 ) .....	50
20 . 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ (問 20 ) .....	55
21 . 生活に役立つ情報の入手先 (問 21 ) .....	59
22 . 米軍基地に対する意見 (問 22 ) .....	62
23 . 自衛隊基地に対する意見 (問 23 ) .....	66
24 . 政策の優先度 (問 24 ) .....	70
25 . 基本的な属性 ( F 1 ~ F 7 ) .....	81
調査票 .....	85

## I. 調査目的および実施方法等

### 1. 調査目的

「国際海の手文化都市」の実現に向けて、市民のニーズを把握し、新たな基本計画をはじめ、各分野別計画および、さまざまな行政施策の企画・立案に活用するため、本調査を実施する。

### 2. 調査項目

問1 横須賀の魅力的なところ  
問2 横須賀の都市イメージ  
問3 横須賀のシンボル  
問4 色にたとえた横須賀のイメージ  
問5 横須賀の住み良さ  
問6 横須賀市への定住意向  
    問6 - 1 定住意向がある人が転出したくなるきっかけ  
    問6 - 2 転出意向がある人が住み続けなくなるきっかけ  
問7 産業政策に関する今後の力点  
問8 商店街の活性化に関する今後の力点  
問9 子育て施策に関する今後の力点  
問10 高齢者福祉施策に関する今後の力点  
問11 安全・安心のための今後の力点  
問12 防災意識向上に求められること  
問13 学校教育に求められること  
問14 生涯学習に関する今後の力点  
問15 環境政策に関する今後の力点  
問16 市民参加型事業への参加状況  
    問16 - 1 参加した活動の内容  
    問16 - 2 今後の参加意向

問17 男女共同参画に関する今後の力点  
問18 市ホームページの機能充実  
問19 施設に対するニーズ  
問20 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ  
問21 生活に役立つ情報の入手先  
問22 米軍基地に対する意見  
    問22 - 1 あった方がよい理由  
    問22 - 2 ない方がよい理由  
問23 自衛隊基地に対する意見  
    問23 - 1 あった方がよい理由  
    問23 - 2 ない方がよい理由  
問24 政策の優先度  
  
< 基本的な属性 >  
F1 性別  
F2 年齢  
F3 お住まいの地域  
F4 職業  
F5 世帯の状況  
F6 横須賀市に住んでいる年数  
F7 現在の住宅の形態

### 3. 調査対象および回収数

調査対象：横須賀市に在住の15歳以上（6月1日現在）の市民5,000人

（住民基本台帳から無作為抽出）

回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
2,173件	43.5%	2,173件	43.5%

### 4. 実施方法

郵送による発送・回収

### 5. 実施時期

平成20年6月17日～7月22日

### 6. 調査の企画・分析

横須賀市都市政策研究所

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

## II. 調査結果の概要

---

### 1. 横須賀の魅力的なところ（問1）

- \* 横須賀市の魅力として「海や緑などの自然環境に恵まれている」が最も多く、回答者全体の8割強を占めている。

### 2. 横須賀の都市イメージ（問2）

- \* 現在の都市イメージとして「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」が最も多く、回答者全体の8割強を占めている。
- \* 望ましい都市イメージとして「高齢者・障害者をはじめ、誰もが安心して暮らせる『福祉都市』」や「防犯体制が整った『安全都市』」、  
「豊かな自然が残されている『オアシス都市』」など、「豊かな自然が残されている『オアシス都市』」を除けば、現在とは異なった都市イメージが挙げられている。

### 3. 横須賀のシンボル（問3）

- \* 海や、海を中心とした自然景観や空間などが最も多く、米軍・自衛隊の基地がこれに次いで多い。

### 4. 色にたとえた横須賀のイメージ（問4）

- \* 「青」が最も多く、次に多い「水色」と合わせて、海を連想させる色が7割強を占めている。

### 5. 横須賀の住み良さ（問5）

- \* 「住み良い」と「まあまあ住み良い」をあわせて9割弱を占めている。

### 6. 横須賀市への定住意向（問6）

- \* 「今住んでいるところに住み続けたい」、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」をあわせて8割以上を占めている。
- \* 転出したくなるきっかけとして、「自然環境が今よりも豊かでなくなる」が回答者全体の6割弱を占めている。
- \* 住み続けたくなくなるきっかけとして、「交通の便が今よりも良くなる」が回答者全体の4割強を占めている。

### 7. 産業政策に関する今後の力点（問7）

- \* 依然として厳しい経済環境の中で、4割強が地域特性を生かした定住促進施策の充実による市内産業の活性化を求めている。

### 8. 商店街の活性化に関する今後の力点（問8）

- \* 回答者全体の4割強が店舗自体の魅力を高めることを求めており、駐車場の整備促進による買い物の利便性向上を求める割合を上回る。このほか、新たなテナントの誘致や、安全・安心面の充実も回答者全体の3割弱を占めている。

- 9 . 子育て施策に関する今後の力点（問9）
- \* 保育園のサービス拡大や仕事と子育ての両立支援策、学童クラブなどの充実が求められている。
- 10 . 高齢者福祉施策に関する今後の力点（問10）
- \* 介護保険の在宅サービスの多様化が6割弱、施設の拡充が4割強となっており、在宅介護と施設介護の両面の拡充が望まれている。
- 11 . 安全・安心のための今後の力点（問11）
- \* 全国的な体感治安の低下や、日常的な防犯意識の高まり等を背景に、「街頭防犯カメラや防犯機器の設置経費を補助する」が最も多く、回答者全体の6割弱を占めている。
- 12 . 防災意識向上に求められること（問12）
- \* 「地域の防災組織が行う防災資機材整備への援助」が最も多く、回答者全体の5割強を占めている。
- 13 . 学校教育に求められること（問13）
- \* 道徳教育の充実が回答者全体の5割強、教師の質の向上が回答者全体の4割弱を占めており、他の項目と比べて多い。
- 14 . 生涯学習に関する今後の力点（問14）
- \* 5割強の回答者が施設の利用機会（曜日、時間など）の拡充を求めている。
- 15 . 環境政策に関する今後の力点（問15）
- \* 5割強の回答者が身近な自然環境の保全を望んでいる。
- 16 . 市民参加型事業への参加状況（問16）
- \* 市民参加型事業に参加したことがある回答者は3割に満たない。
  - \* 「町内会、PTA、子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など」が回答者全体の8割強を占めている。
  - \* これまで参加経験のない回答者のうち、今後は参加したいと考えている割合は3割強である。今後参加したい活動は「町内会、PTA、子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など」が最も多く回答者全体の5割弱を占めている。
  - \* 今後も参加・参画したくない理由は、「興味はあるが時間的余裕がない」「興味はあるがきっかけや情報がない」を合わせて7割強を占めており、関心は抱いているものの行動には結びついていない状況にある。
- 17 . 男女共同参画に関する今後の力点（問17）
- \* 「男女共同参画社会」の実現のために、男女がともに仕事と家庭が両立できるような企業への環境整備の働きかけが求められている。



18 . 市ホームページの機能充実（問18）

- \* 「市政の情報公開・情報開示」が最も多く、回答者全体の4割強を占めている。

19 . 施設に対するニーズ（問19）

- \* 地域に不足しているものとして、医療・福祉施設へのニーズが高い。

20 . 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ（問20）

- \* 病院、救急医療センターなどの医療施設の機能強化・建て直しに対するニーズが、他の市営施設と比較して多い。

21 . 生活に役立つ情報の入手先（問21）

- \* 「テレビ」が最も多く回答者全体の8割弱を占めており、「新聞・チラシ」がこれに次いで回答者全体の7割弱を占めている。

22 . 米軍基地に対する意見（問22）

- \* あった方がよいとする市民は2割弱である。基地があるのはやむを得ないとする市民が4割強であり、合わせて約6割の市民が基地の存在を容認している。
- \* あった方がよいとする回答者のうち5割弱が、日本の安全上必要であることを理由として挙げている。
- \* ない方がよいとする回答者のうち5割弱が、犯罪や事故が心配であることを理由として挙げている。

23 . 自衛隊基地に対する意見（問23）

- \* あった方がよい、やむを得ないがともに4割弱であり、合わせて8割弱の回答者が基地の存在を容認している。
- \* あった方がよいとする回答者の5割強が、日本の安全上必要であることを理由として挙げている。
- \* ない方がよいとする回答者の3割強が、戦争の危険に巻き込まれるおそれがあることを、2割強が、本市発展の阻害要因となることを理由として挙げている。

24 . 政策の優先度（問24）

- \* 「地域経済の振興」、「市民生活の安全・安心の向上」は半数以上の人を選択している。これらに「高齢者福祉支援」が僅差で続き、これに次いで「子育て支援」、「環境対策」などが多く挙げられている。

### III . 集計結果

#### 1 . 横須賀の魅力的なところ (問1)

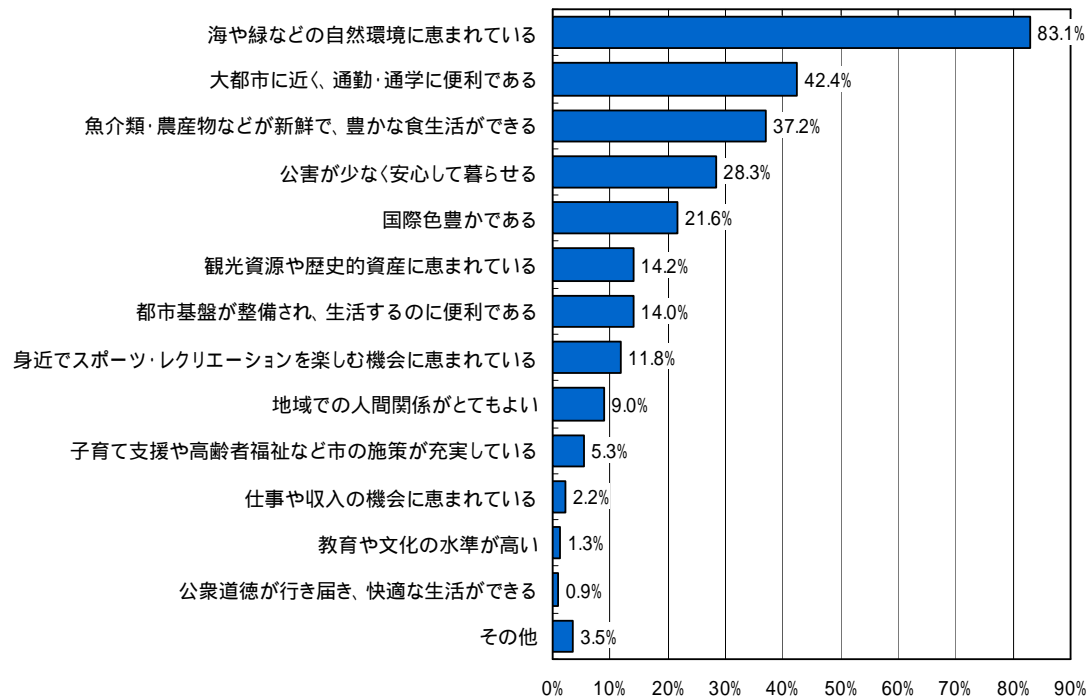
あなたにとって横須賀の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

横須賀市の魅力として「海や緑などの自然環境に恵まれている」が最も多く、回答者全体の8割強を占めている。

- ・ 「海や緑などの自然環境に恵まれている」を回答した人が83.1%と最も多く、他の項目と比較して突出して多くなっている。
- ・ これに次いで、「大都市に近く、通勤・通学に便利である」(42.4%)、「魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」(37.2%)、「公害が少なく安心して暮らせる」(28.3%)、「国際色豊かである」(21.6%)などが多く挙げられている。

(図 1-1 横須賀の魅力的なところ)

(回答数 2,150 人)



## 2. 横須賀の都市イメージ（問2）

横須賀の都市イメージについて伺います。あなたが考える現在の都市イメージおよび望ましい都市イメージについて、次の中からあてはまるものをそれぞれ3つまで選んでください。

### (1) 現在の都市イメージ

現在の都市イメージとして「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」が最も多く、回答者全体の8割強を占めている。

- ・「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」が84.6%と最も多く、他の項目と比較して突出して多くなっている。
- ・これに次いで「首都圏の『ベッドタウン都市』」(30.1%)、「海と緑を求めて市外からも人が訪れる『レクリエーション都市』」(29.2%)、「豊かな自然が残されている『オアシス都市』」(23.3%)、「横須賀リサーチパーク(YRP)など研究開発拠点が整った『研究開発都市』」(21.9%)などが多く挙げられている。

### (2) 望ましい都市イメージ

望ましい都市イメージとして「高齢者・障害者をはじめ、誰もが安心して暮らせる『福祉都市』」や「防犯体制が整った『安全都市』」、豊かな自然が残されている『オアシス都市』」など、「豊かな自然が残されている『オアシス都市』」を除けば、現在とは異なった都市イメージが挙げられている。

- ・「高齢者・障害者をはじめ、誰もが安心して暮らせる『福祉都市』」が51.7%と最も多く、これに次いで「防犯体制が整った『安全都市』」(31.6%)、「豊かな自然が残されている『オアシス都市』」(29.3%)などが多く挙げられている。
- ・「豊かな自然が残されている『オアシス都市』」を除けば、現在の都市イメージとしては回答率が低い都市イメージが上位に挙げられており、現状とは異なった都市像が望ましいものとして挙げられている。



### 3. 横須賀のシンボル（問3）

横須賀のシンボルは何だと思いますか。思い浮かべることがら、または具体的なイベントや場所、施設、風景などをご自由にお書きください。

海や、海を中心とした自然景観や空間などが最も多く、米軍・自衛隊の基地がこれに次いで多い。

- ・海や、海を中心とした自然景観や空間などが最も多くみられた。また米軍や自衛隊の基地がこれに次いで多く、これら以外の回答とは大きな差がみられた。
- ・これに次いで、山や緑、港や船、観音崎、ペリー・開国に関する事などが多く挙げられている。

（表 3-1 横須賀のシンボル：回答が 30 件以上あったもの）

（回答数 1,704 人）

順位	主要項目	回答件数
1 位	海や海を中心とする自然環境	881
2 位	米軍・自衛隊の基地	665
3 位	山や緑	259
4 位	港や船	139
5 位	観音崎	138
6 位	ペリー・開国	137
7 位	三笠公園・記念艦三笠	130
8 位	猿島	100
9 位	祭・花火大会	99
10 位	灯台	66
11 位	美術・芸術	49
12 位	ドブ板通り	46
12 位	カレー	46

#### 4. 色にたとえた横須賀のイメージ（問4）

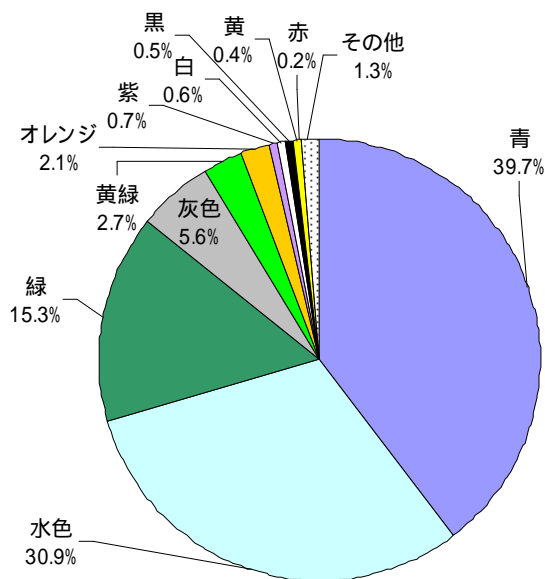
あなたは、横須賀のイメージを色にたとえると何色だと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

「青」が最も多く、次に多い「水色」と合わせて、海を連想させる色が7割強を占めている。

- ・「青」が39.7%で最も多く、これに次いで「水色」(30.9%)、「緑」(15.3%)などが多く挙げられている。
- ・特に問3の横須賀のシンボルで最も多かった海を連想させる「青」「水色」を合わせると7割強を占めている。

(図 4-1 色にたとえた横須賀のイメージ)

(回答数 2,047 人)



## 5. 横須賀の住み良さ（問5）

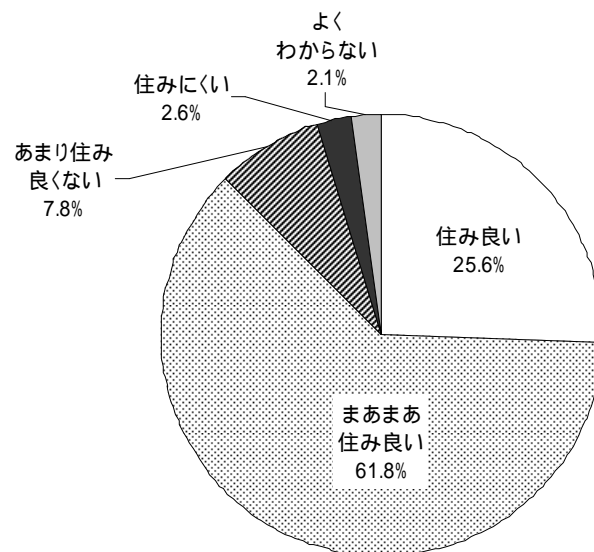
あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

「住み良い」と「まあまあ住み良い」をあわせて9割弱を占めている。

- ・「住み良い」と「まあまあ住み良い」をあわせて、横須賀市を住みよいと感じている回答者は9割弱を占めている。
- ・一方で、「住みにくい」、「あまり住み良くない」と感じている回答者は1割強となっている。

（図 5-1 横須賀の住み良さ）

（回答数 2,162 人）



「横須賀の住み良さ」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

#### 男女別

- ・男女ともに回答者全体と同様の傾向を示しており、男女差はみられない。

(表 5-1 横須賀の住み良さ 男女別)

	回答数	住み良い	まあまあ 住み良い	あまり 住み良くない	住みにくい	よく わからない
単純集計	2,162	25.6%	61.8%	7.8%	2.6%	2.1%
男性	899	25.3%	62.0%	7.1%	3.1%	2.6%
女性	1,247	25.9%	61.8%	8.2%	2.2%	1.8%
不明	16	25.0%	50.0%	18.8%	6.3%	0.0%

#### 年齢

- ・回答者全体よりも5ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「住み良い」における70歳以上、「まあまあ住み良い」における15～19歳、65～69歳、「あまり住み良くない」における35～39歳である。

(表 5-2 横須賀の住み良さ 年齢別)

	回答数	住み良い	まあまあ 住み良い	あまり 住み良くない	住みにくい	よく わからない
単純集計	2,162	25.6%	61.8%	7.8%	2.6%	2.1%
15～19歳	96	20.8%	69.8%	4.2%	2.1%	3.1%
20～24歳	83	24.1%	63.9%	4.8%	4.8%	2.4%
25～29歳	104	28.8%	55.8%	11.5%	1.9%	1.9%
30～34歳	137	27.7%	56.9%	10.2%	2.9%	2.2%
35～39歳	157	14.0%	65.0%	14.0%	4.5%	2.5%
40～44歳	153	27.5%	56.2%	9.8%	2.6%	3.9%
45～49歳	158	25.9%	62.0%	7.6%	1.3%	3.2%
50～54歳	166	25.9%	64.5%	4.8%	3.0%	1.8%
55～59歳	227	24.2%	63.9%	6.6%	3.1%	2.2%
60～64歳	247	25.9%	61.5%	8.1%	2.8%	1.6%
65～69歳	206	20.4%	67.0%	8.3%	2.9%	1.5%
70～74歳	240	31.3%	59.6%	6.3%	1.3%	1.7%
75歳以上	167	33.5%	58.7%	4.2%	2.4%	1.2%
不明	21	28.6%	52.4%	19.0%	0.0%	0.0%

網掛けは単純集計結果に比べて5ポイント以上多い項目（「その他」および「不明」は除く）



居住地域

- ・ 回答者全体よりも5ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「住み良い」における本庁地域、逸見地域、「まあまあ住み良い」における衣笠地域である。

(表 5-3 横須賀の住み良さ 居住地域別)

	回答数	住み良い	まあまあ住み良い	あまり住み良くない	住みにくい	よくわからない
単純集計	2,162	25.6%	61.8%	7.8%	2.6%	2.1%
本庁地域	299	32.8%	58.2%	5.7%	2.0%	1.3%
追浜地域	155	25.8%	62.6%	6.5%	3.2%	1.9%
田浦地域	106	24.5%	56.6%	9.4%	4.7%	4.7%
逸見地域	60	35.0%	56.7%	3.3%	3.3%	1.7%
衣笠地域	326	22.4%	66.9%	7.1%	0.9%	2.8%
大津地域	257	25.3%	62.6%	7.8%	1.9%	2.3%
浦賀地域	261	21.8%	59.8%	10.0%	5.0%	3.4%
久里浜地域	284	26.1%	65.5%	6.3%	1.4%	0.7%
北下浦地域	171	25.1%	59.6%	9.4%	4.1%	1.8%
西地域	216	20.8%	63.9%	10.6%	2.8%	1.9%
不明	27	44.4%	37.0%	14.8%	3.7%	0.0%

網掛けは単純集計結果に比べて5ポイント以上多い項目(「その他」および「不明」は除く)

## 6. 横須賀市への定住意向（問6）

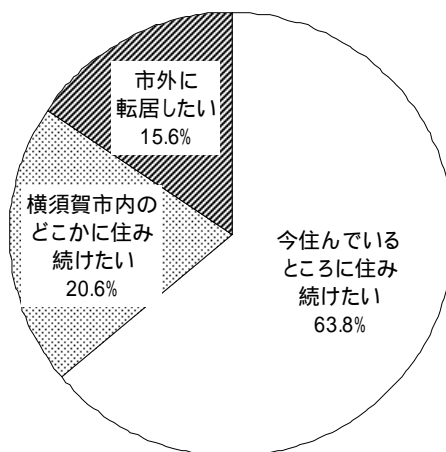
あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

「今住んでいるところに住み続けたい」、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」をあわせて8割以上を占めている。

- ・「今住んでいるところに住み続けたい」と「横須賀市内のどこかに住み続けたい」をあわせると全体の8割以上を占めている。
- ・一方で、「市外に転居したい」と感じている回答者は15.6%となっている。

（図6-1 横須賀市への定住意向）

（回答数 2,094 人）



「横須賀市への定住意向」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

#### 男女別

- ・男女ともに回答者全体と同様の傾向を示しており、男女差はみられない。

(表 6-1 横須賀市への定住意向 男女別)

	回答数	今住んでいるところに 住み続けたい	横須賀市内のどこかに 住み続けたい	市外に転居したい
単純集計	2,094	63.8%	20.6%	15.6%
男性	875	64.5%	20.6%	15.0%
女性	1,205	63.4%	20.7%	15.9%
不明	14	57.1%	21.4%	21.4%

#### 年齢

- ・回答者全体よりも10ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「今住んでいるところに住み続けたい」における65歳以上、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」における25～34歳、「市外に転居したい」における15～24歳である。

(表 6-2 横須賀市への定住意向 年齢別)

	回答数	今住んでいるところに 住み続けたい	横須賀市内のどこかに 住み続けたい	市外に転居したい
単純集計	2,094	63.8%	20.6%	15.6%
15～19歳	97	46.4%	23.7%	29.9%
20～24歳	81	43.2%	25.9%	30.9%
25～29歳	104	48.1%	30.8%	21.2%
30～34歳	136	51.5%	32.4%	16.2%
35～39歳	156	54.5%	24.4%	21.2%
40～44歳	152	54.6%	29.6%	15.8%
45～49歳	156	57.7%	30.1%	12.2%
50～54歳	161	67.7%	16.1%	16.1%
55～59歳	227	66.1%	18.5%	15.4%
60～64歳	236	69.1%	16.9%	14.0%
65～69歳	200	76.5%	11.0%	12.5%
70～74歳	220	78.2%	13.2%	8.6%
75歳以上	151	80.8%	11.9%	7.3%
不明	17	52.9%	29.4%	17.6%

網掛けは単純集計結果に比べて10ポイント以上多い項目(「その他」および「不明」は除く)

居住地域

- ・ 回答者全体よりも5ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「今住んでいるところに住み続けたい」における本庁地域、逸見地域、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」における衣笠地域、西地域、「市外に転居したい」における追浜地域である。

(表 6-3 横須賀市への定住意向 居住地域別)

	回答数	今住んでいるところに 住み続けたい	横須賀市内のどこかに 住み続けたい	市外に転居したい
単純集計	2,094	63.8%	20.6%	15.6%
本庁地域	284	69.4%	19.0%	11.6%
追浜地域	151	66.2%	12.6%	21.2%
田浦地域	100	67.0%	17.0%	16.0%
逸見地域	58	70.7%	15.5%	13.8%
衣笠地域	320	58.1%	27.2%	14.7%
大津地域	256	68.0%	15.6%	16.4%
浦賀地域	251	58.6%	21.1%	20.3%
久里浜地域	276	65.2%	19.6%	15.2%
北下浦地域	165	63.0%	23.6%	13.3%
西地域	209	60.3%	25.8%	13.9%
不明	24	58.3%	25.0%	16.7%

網掛けは単純集計結果に比べて5ポイント以上多い項目(「その他」および「不明」は除く)

(1) 定住意向がある人が転出したくなるきっかけ(問6-1)

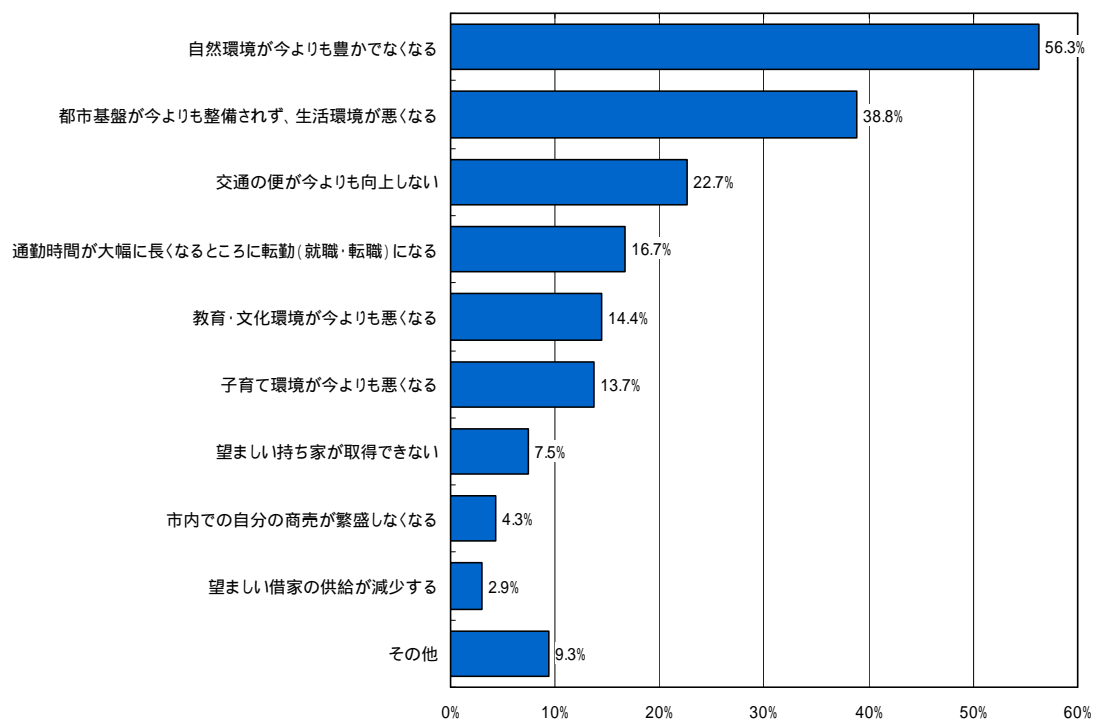
問6で か を選んだ方に伺います。横須賀市に住み続けたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

転出したくなるきっかけとして、「自然環境が今よりも豊かでなくなる」が回答者全体の6割弱を占めている。

- ・「自然環境が今よりも豊かでなくなる」が56.3%と最も多くなっている。
- ・これに次いで、「都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる」(38.8%)、「交通の便が今よりも向上しない」(22.7%)などが多く挙げられている。

(図6-2 定住意向がある人が転出したくなるきっかけ)

(回答数 1,704 人)



(2) 転出意向がある人が住み続けたくなくなるきっかけ(問6-2)

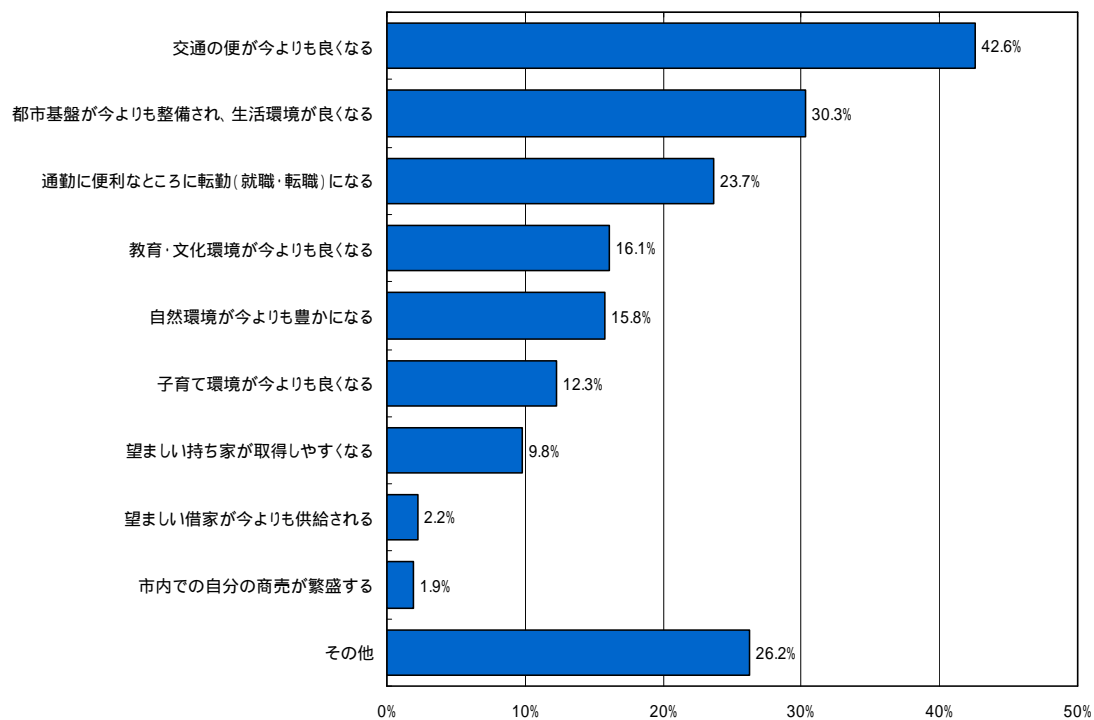
問6で を選んだ方に伺います。市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

住み続けたくなくなるきっかけとして、「交通の便が今よりも良くなる」が回答者全体の4割強を占めている。

- ・「交通の便が今よりも良くなる」が42.6%と最も多くなっている。
- ・これに次いで、「都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる」(30.3%)、「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」(23.7%)などが多く挙げられている。

(図6-3 転出意向がある人が住み続けたくなくなるきっかけ)

(回答数 317人)



## 7. 産業政策に関する今後の力点（問7）

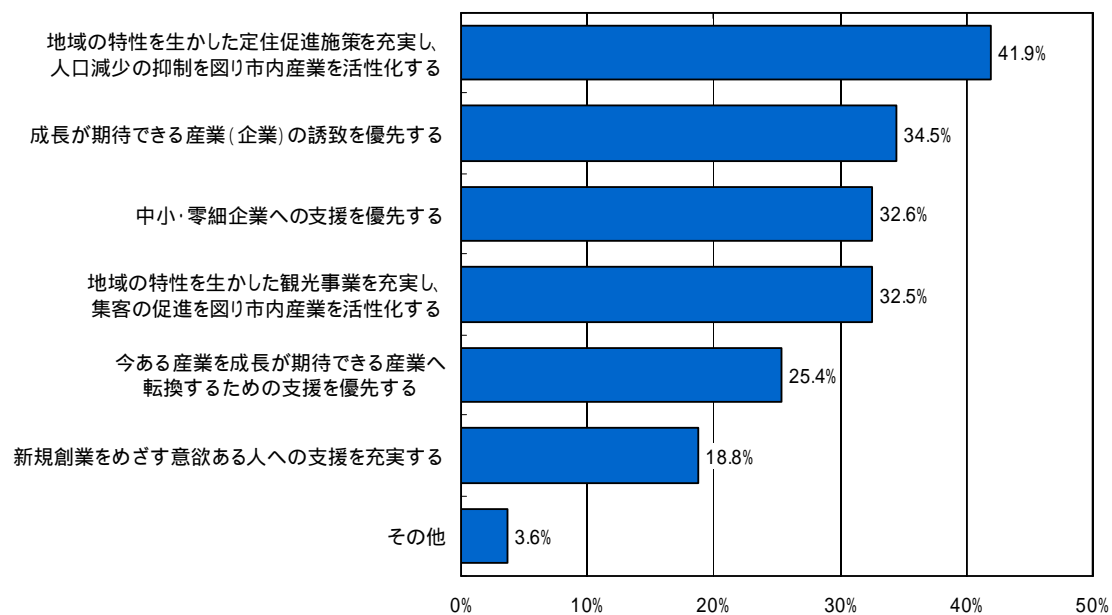
【産業政策】横須賀市の産業について伺います。今後、市内の産業をさらに活性化するためには、どのようにしていけばよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

依然として厳しい経済環境の中で、4割強が地域特性を生かした定住促進施策の充実による市内産業の活性化を求めている。

- ・「地域の特性を生かした定住促進施策を充実し、人口減少の抑制を図り市内産業を活性化する」が41.9%と最も多くなっている。
- ・これに次いで、「成長が期待できる産業（企業）の誘致を優先する」（34.5%）、「中小・零細企業への支援を優先する」（32.6%）、「地域の特性を生かした観光事業を充実し、集客の促進を図り市内産業を活性化する」（32.5%）などが多く挙げられている。

（図7-1 産業政策に関する今後の力点）

（回答数2,094人）



## 8. 商店街の活性化に関する今後の力点（問8）

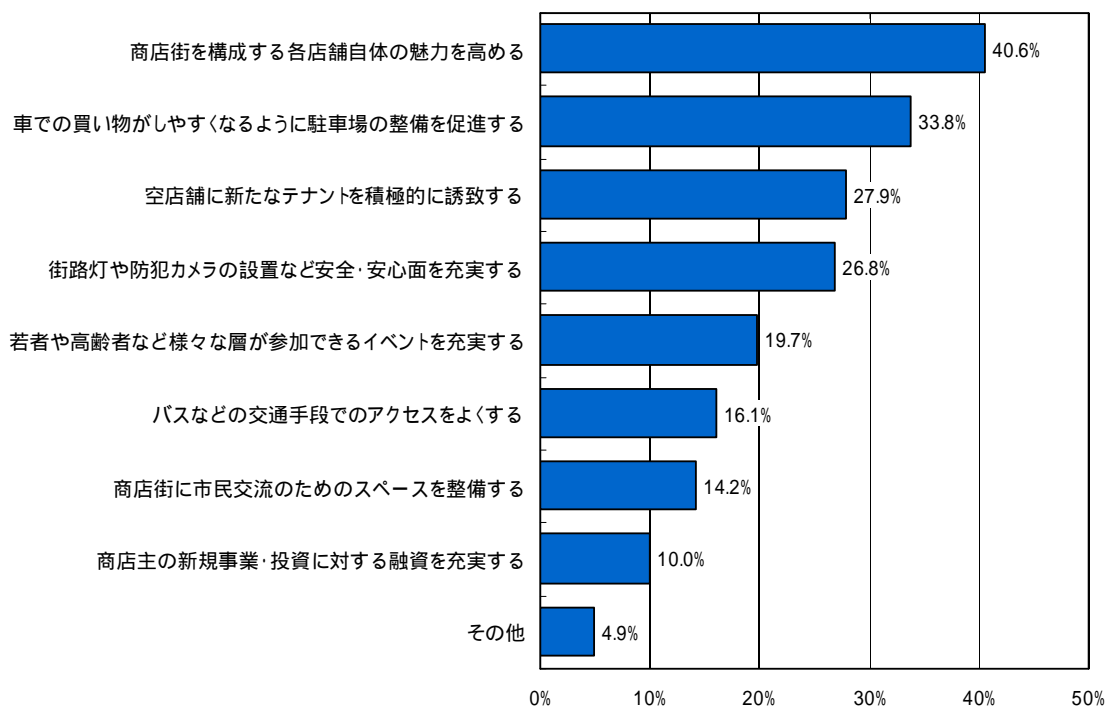
【商店街の活性化】今後、横須賀市の商店街の活性化にはどのように取り組んでいけばよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

回答者全体の4割強が店舗自体の魅力を高めることを求めており、駐車場の整備促進による買い物の利便性向上を求める割合を上回る。このほか、新たなテナントの誘致や、安全・安心面の充実も回答者全体の3割弱を占めている。

- ・「商店街を構成する各店舗自体の魅力を高める」が40.6%と最も多くなっている。
- ・これに次いで、「車での買い物がしやすくなるように駐車場の整備を促進する」(33.8%)、「空店舗に新たなテナントを積極的に誘致する」(27.9%)、「街路灯や防犯カメラの設置など安全・安心面を充実する」(26.8%)などが多く挙げられている。

(図8-1 商店街の活性化に関する今後の力点)

(回答数2,120人)





## 9. 子育て施策に関する今後の力点（問9）

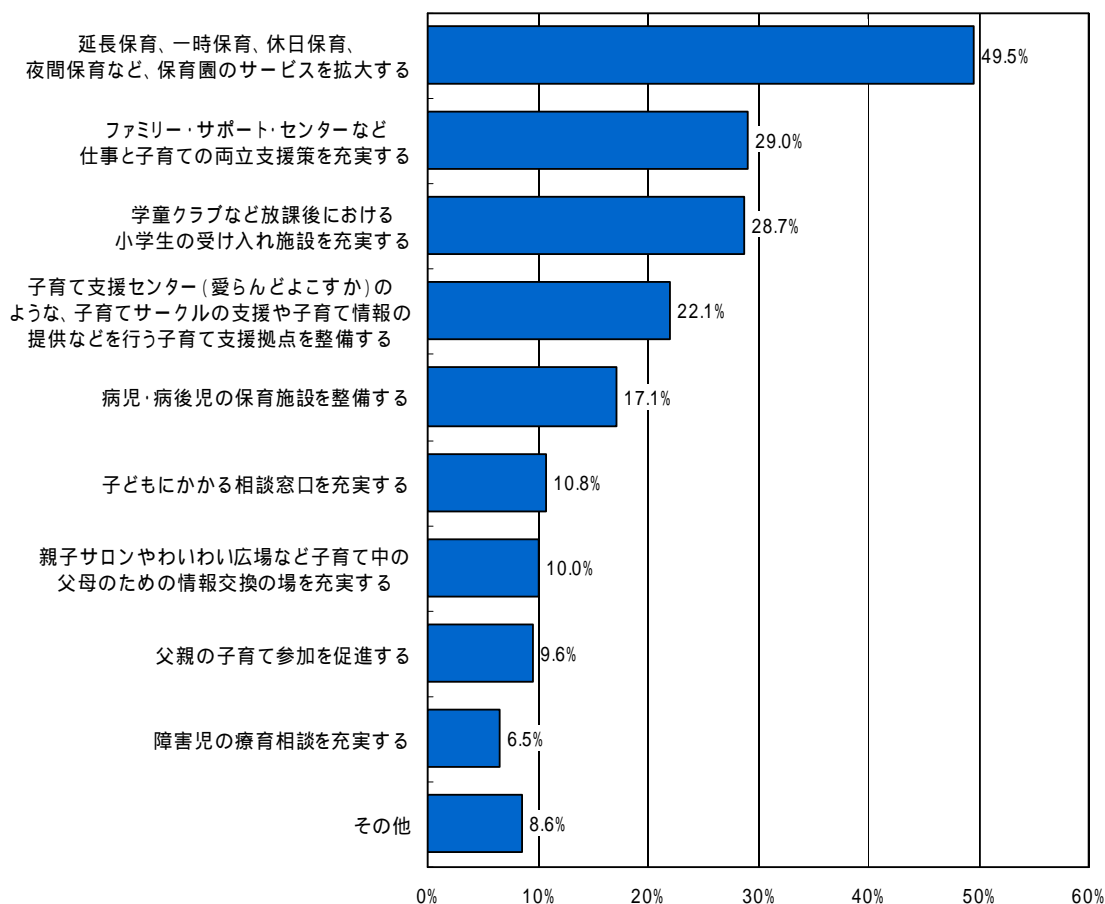
【子育て支援】少子高齢社会への対応として、横須賀市では子育て支援体制の充実に取り組んでいますが、今後どのような施策に特に力を入れるべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

保育園のサービス拡大や仕事と子育ての両立支援策、学童クラブなどの充実が求められている。

- ・「延長保育、一時保育、休日保育、夜間保育など、保育園のサービスを拡大する」が最も多く、49.5%と回答者全体の約半数が力を入れてほしいと考えている。
- ・これに次いで、「ファミリー・サポート・センターなど仕事と子育ての両立支援策を充実する」(29.0%)、「学童クラブなど放課後における小学生の受け入れ施設を充実する」(28.7%)などが多く挙げられている。

(図 9-1 子育て施策に関する今後の力点)

(回答数 2,056 人)



「子育て施策に関する今後の力点」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

年齢

- ・ 回答者全体よりも10ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する」における55～59歳である。

(表 9-1 子育て施策に関する今後の力点 年齢別)

	回答数	子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する	子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する
単純集計	2,056	49.5%	29.0%	28.7%	22.1%	17.1%	10.8%	10.0%	9.6%	6.5%	8.6%	
15～19歳	95	49.5%	21.1%	17.9%	18.9%	25.3%	11.6%	17.9%	14.7%	7.4%	6.3%	
20～24歳	83	44.6%	28.9%	21.7%	14.5%	26.5%	6.0%	12.0%	19.3%	7.2%	10.8%	
25～29歳	104	57.7%	28.8%	21.2%	15.4%	16.3%	13.5%	5.8%	10.6%	8.7%	13.5%	
30～34歳	133	54.9%	25.6%	28.6%	9.8%	19.5%	6.8%	9.8%	8.3%	3.0%	18.8%	
35～39歳	154	50.0%	22.1%	34.4%	18.2%	14.9%	9.1%	4.5%	8.4%	5.2%	20.8%	
40～44歳	147	48.3%	38.1%	30.6%	15.0%	21.1%	11.6%	6.8%	6.8%	4.1%	12.2%	
45～49歳	155	51.0%	32.9%	30.3%	14.2%	21.3%	14.2%	7.1%	9.0%	4.5%	7.1%	
50～54歳	163	52.8%	33.7%	28.8%	20.9%	18.4%	6.7%	8.0%	12.3%	8.6%	5.5%	
55～59歳	218	42.7%	33.9%	27.1%	32.6%	13.8%	8.3%	12.8%	8.7%	6.0%	8.3%	
60～64歳	232	53.0%	31.5%	27.2%	26.3%	10.3%	12.1%	12.1%	6.0%	9.1%	6.0%	
65～69歳	196	53.1%	30.1%	24.5%	31.1%	19.9%	8.7%	13.3%	9.2%	3.1%	3.1%	
70～74歳	215	42.3%	27.9%	35.3%	28.8%	14.4%	13.0%	9.3%	11.2%	7.0%	3.3%	
75歳以上	148	48.6%	15.5%	35.1%	20.9%	14.9%	18.9%	10.1%	8.8%	9.5%	4.1%	
不明	13	38.5%	30.8%	38.5%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	30.8%	7.7%	

網掛けは単純集計結果に比べて10ポイント以上多い項目（「その他」および「不明」は除く）



## 10．高齢者福祉施策に関する今後の力点（問10）

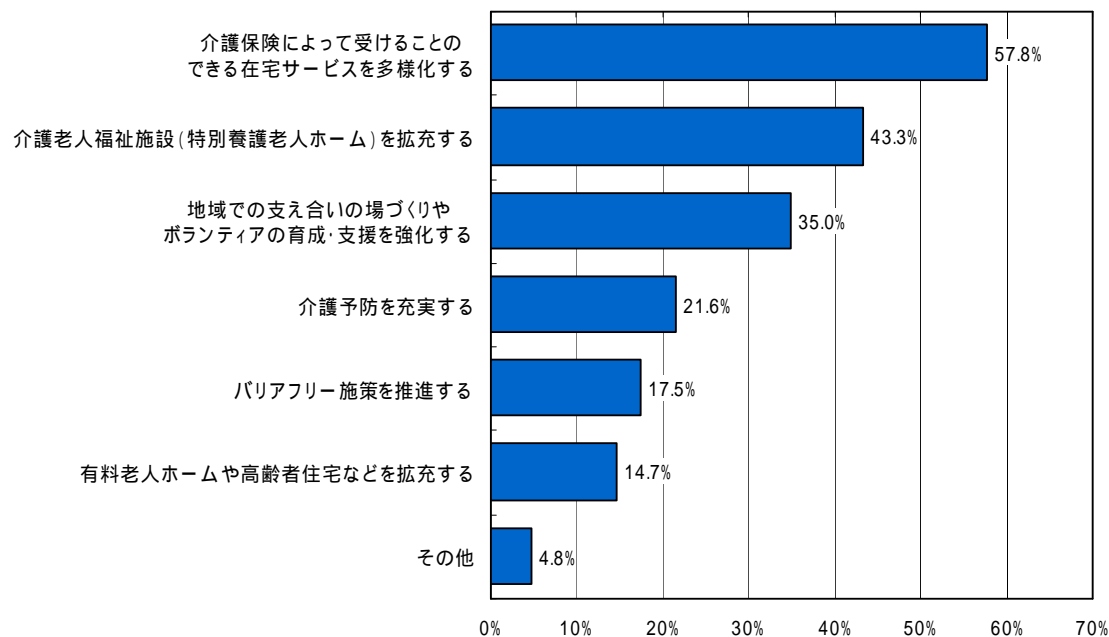
【高齢者福祉施策】介護保険制度が導入されて8年が経過しましたが、今後横須賀市ではどのような施策に特に力を入れるべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

介護保険の在宅サービスの多様化が6割弱、施設の拡充が4割強となっており、在宅介護と施設介護の両面の拡充が望まれている。

- ・「介護保険によって受けることのできる在宅サービスを多様化する」が57.8%と最も多くなっている。
- ・これに次いで、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を拡充する」（43.3%）、「地域での支え合いの場づくりやボランティアの育成・支援を強化する」（35.0%）などが多く挙げられている。

（図10-1 高齢者福祉施策に関する今後の力点）

（回答数 2,126 人）



「高齢者福祉施策に関する今後の力点」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

年齢

- ・ 回答者全体よりも 10 ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を拡充する」における 75 歳以上、「バリアフリー施策を推進する」における 15～24 歳である。

(表 10-1 高齢者福祉施策に関する今後の力点 年齢別)

	回答数	介護保険による在宅サービスを受けることができる	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を拡充する	地域の支え合いづくりや子育て支援を強化する	介護予防を充実する	バリアフリー施策を推進する	有料老人ホームなどを拡充する	その他
単純集計	2,126	57.8%	43.3%	35.0%	21.6%	17.5%	14.7%	4.8%
15～19歳	96	38.5%	28.1%	44.8%	17.7%	49.0%	12.5%	0.0%
20～24歳	83	45.8%	28.9%	31.3%	24.1%	41.0%	18.1%	6.0%
25～29歳	103	48.5%	37.9%	35.9%	17.5%	27.2%	14.6%	10.7%
30～34歳	130	53.1%	37.7%	36.2%	23.1%	22.3%	15.4%	5.4%
35～39歳	153	63.4%	26.8%	37.3%	23.5%	23.5%	8.5%	8.5%
40～44歳	150	62.0%	40.0%	32.7%	22.0%	18.7%	14.7%	3.3%
45～49歳	156	59.6%	50.0%	30.1%	12.8%	17.3%	17.9%	8.3%
50～54歳	164	59.1%	45.1%	40.9%	20.1%	15.9%	10.4%	5.5%
55～59歳	229	56.8%	46.3%	37.1%	25.8%	14.4%	11.8%	4.4%
60～64歳	246	60.2%	48.4%	36.2%	23.6%	9.8%	13.8%	4.5%
65～69歳	202	59.9%	51.0%	36.6%	20.3%	12.4%	15.3%	2.5%
70～74歳	234	65.0%	42.3%	33.8%	25.2%	8.5%	16.7%	3.0%
75歳以上	163	54.6%	57.7%	25.8%	20.2%	8.0%	22.7%	1.8%
不明	17	82.4%	47.1%	17.6%	11.8%	5.9%	11.8%	17.6%

網掛けは単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「その他」および「不明」は除く）

世帯状況

- ・ 65 歳以上の高齢者がいる世帯は、全般に回答者全体と同様の傾向を示しているが、「介護保険によって受けることのできる在宅サービスを多様化する」および「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)を拡充する」について回答者全体より若干多くなっている。

(表 10-2 高齢者福祉施策に関する今後の力点 世帯状況別)

	回答数	介護保険による在宅サービスの多様化	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の拡充	地域の場づくりや地域での支援を強化	介護予防を充実	バリアフリー施策を推進	有料老人ホームなどへの拡充	その他
単純集計	2126	57.8%	43.3%	35.0%	21.6%	17.5%	14.7%	4.8%
65歳以上の高齢者がいる	849	60.2%	47.9%	32.5%	22.4%	13.4%	14.7%	4.8%

## 11. 安全・安心のための今後の力点（問11）

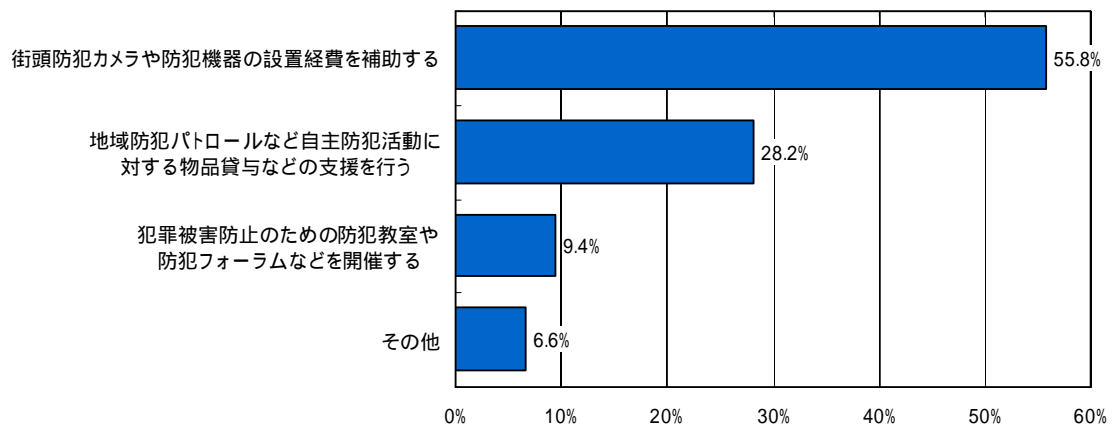
【安全・安心施策】犯罪のない安全で安心なまちにするために、地域の防犯力を高めることが必要と考えています。そのためにはどのような施策を行えばよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

全国的な体感治安の低下や、日常的な防犯意識の高まり等を背景に、「街頭防犯カメラや防犯機器の設置経費を補助する」が最も多く、回答者全体の6割弱を占めている。

- ・「街頭防犯カメラや防犯機器の設置経費を補助する」が55.8%と最も多い。
- ・上記の項目と比較すると格差があるが、これに次いで、「地域防犯パトロールなど自主防犯活動に対する物品貸与などの支援を行う」(28.2%)が多く挙げられている。

(図 11-1 安全・安心のための今後の力点)

(回答数 2,123 人)



「安全・安心のための今後の力点」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

年齢

- ・ 回答者全体よりも10ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「地域防犯パトロールなど自主防犯活動に対する物品貸与などの支援を行う」における20～24歳である。

(表 11-1 安全・安心のための今後の力点 年齢別)

	回答数	補助のラ街 助設や頭 す置防防 る経犯犯 費機力 を器メ	を与対主口地 行なす防「域 うどる犯ル防 の物活な犯 支品動どバ 援貸に自ト	をオ教の犯 開「室た罪 催ラやめ被 するム防の害 な犯防防 どフ犯止	その他
単純集計	2,123	55.8%	28.2%	9.4%	6.6%
15～19歳	96	50.0%	34.4%	11.5%	4.2%
20～24歳	83	42.2%	42.2%	4.8%	10.8%
25～29歳	102	45.1%	33.3%	5.9%	15.7%
30～34歳	134	50.7%	33.6%	7.5%	8.2%
35～39歳	157	50.3%	31.2%	10.2%	8.3%
40～44歳	150	61.3%	24.7%	9.3%	4.7%
45～49歳	156	59.6%	20.5%	12.2%	7.7%
50～54歳	163	60.1%	23.9%	9.8%	6.1%
55～59歳	226	58.8%	25.2%	10.2%	5.8%
60～64歳	243	60.9%	26.3%	7.8%	4.9%
65～69歳	204	55.4%	28.4%	10.8%	5.4%
70～74歳	234	57.3%	29.5%	9.0%	4.3%
75歳以上	159	55.3%	27.0%	11.3%	6.3%
不明	16	62.5%	18.8%	6.3%	12.5%

網掛けは単純集計結果に比べて10ポイント以上多い項目(「その他」および「不明」は除く)



世帯状況

- ・ 0～14歳の子どもがいる世帯、65歳以上の高齢者がいる世帯、単身世帯とも、回答者全体と同様の傾向がみられるが、単身世帯では、「地域防犯パトロールなど自主防犯活動に対する物品貸与などの支援を行う」について回答者全体より少ない傾向がみられ、「犯罪被害防止のための防犯教室や防犯フォーラムなどを開催する」について回答者全体より多い傾向がみられる。

(表 11-2 安全・安心のための今後の力点 世帯状況別)

	回答数	補のラ街 助設や頭 す置防防 る経犯犯 費機力 を器メ	行なす防「地 うどる犯ル域 の物活な防 支品動ど犯 援貸に自パ を与対主口	開「教の犯 催ラ室た罪 するムやめ被 るな防の害 ど犯の害 をオ防防 オ犯止	その他
単純集計	2,123	55.8%	28.2%	9.4%	6.6%
0歳～14歳の子どもがいる	401	57.6%	27.7%	8.5%	6.2%
65歳以上の高齢者がいる	845	55.0%	28.2%	10.2%	6.6%
単身世帯	140	55.7%	22.9%	12.1%	9.3%
無回答	837	56.0%	29.5%	8.1%	6.3%

## 12. 防災意識向上に求められること（問12）

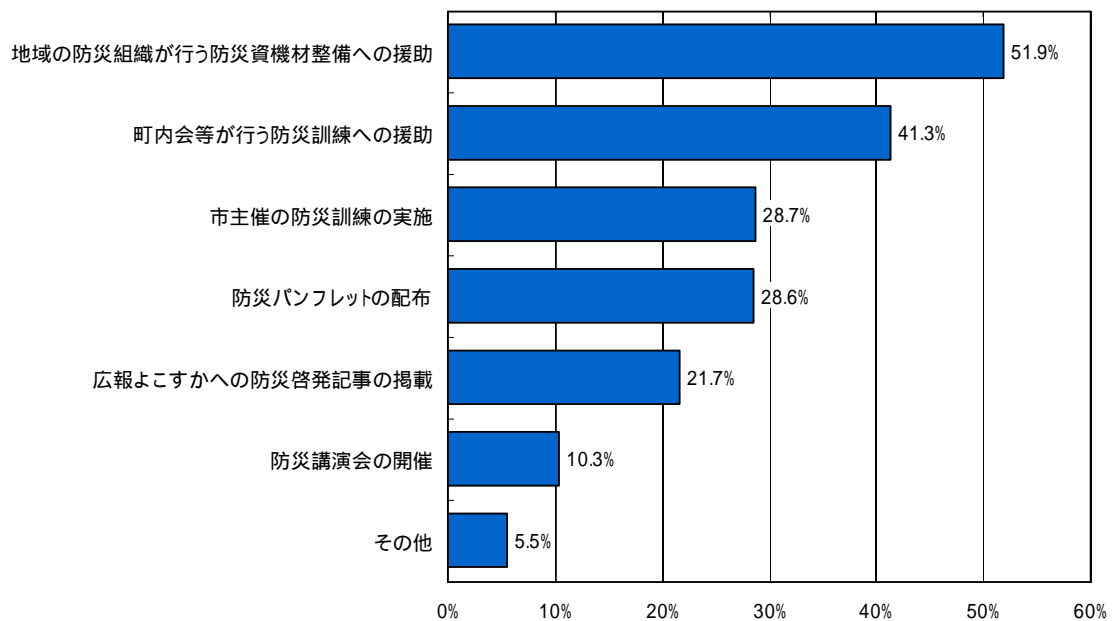
【防災意識】大規模災害が発生した場合に、まず重要となるのは「自助」「共助」の取り組みです。万が一の際に、これらの取り組みをしっかりと行うためには、普段から防災意識を高めておくことが必要と考えていますが、そのために市が行うもので有効なものは何ですか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

「地域の防災組織が行う防災資機材整備への援助」が最も多く、回答者全体の5割強を占めている。

- ・ 「地域の防災組織が行う防災資機材整備への援助」が最も多く、51.9%を占めている。
- ・ これに次いで、「町内会等が行う防災訓練への援助」(41.3%)、「市主催の防災訓練の実施」(28.7%)「防災パンフレットの配布」(28.6%)、「広報よこすかへの防災啓発記事の掲載」(21.7%)などが多く挙げられている。

(図 12-1 防災意識向上に求められること)

(回答数 2,126 人)



### 13. 学校教育に求められること（問13）

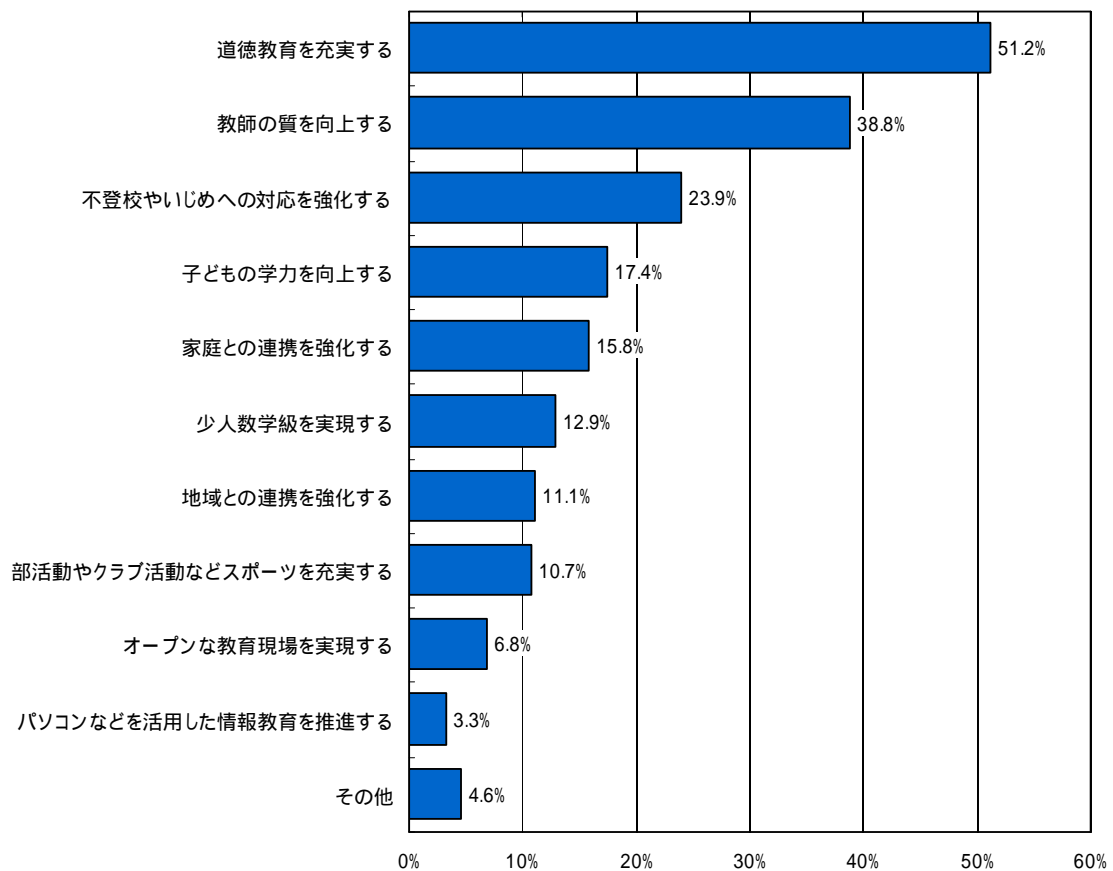
【学校教育】今、教育の現場では様々な課題がありますが、あなたが学校教育に求めるものは何ですか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

道徳教育の充実が回答者全体の5割強、教師の質の向上が回答者全体の4割弱を占めており、他の項目と比べて多い。

- ・「道徳教育を充実する」が51.2%と最も多く、「教師の質を向上する」が38.8%でこれに次いでおり、これら2項目が多くなっている。
- ・上記の項目と比較すると格差があるが、これらに次いで「不登校やいじめへの対応を強化する」(23.9%)、「子どもの学力を向上する」(17.4%)、「家庭との連携を強化する」(15.8%)などが多く挙げられている。

(図13-1 学校教育に求められること)

(回答数2,119人)



「学校教育に求められること」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

年齢

- ・ 回答者全体よりも10ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「道德教育を充実する」における70歳以上、「不登校やいじめへの対応を強化する」における40～44歳である。

(表 13-1 学校教育に求められること 年齢別)

	回答数	道德教育を充実する	教師の質を向上する	不登校やいじめへの対応を強化する	子どもの学力を向上する	家庭との連携を強化する	少人数学習級を実現する	地域との連携を強化する	部活動やクラブ活動を充実する	オープンな教育現場を実現する	活用した情報を推進する	その他
単純集計	2,119	51.2%	38.8%	23.9%	17.4%	15.8%	12.9%	11.1%	10.7%	6.8%	3.3%	4.6%
15～19歳	95	25.3%	41.1%	31.6%	26.3%	10.5%	17.9%	9.5%	13.7%	6.3%	7.4%	7.4%
20～24歳	83	31.3%	34.9%	31.3%	15.7%	16.9%	16.9%	12.0%	13.3%	14.5%	4.8%	6.0%
25～29歳	104	42.3%	26.9%	20.2%	17.3%	19.2%	8.7%	13.5%	14.4%	9.6%	9.6%	9.6%
30～34歳	137	39.4%	34.3%	26.3%	16.1%	19.0%	13.1%	13.9%	14.6%	9.5%	5.1%	4.4%
35～39歳	156	41.7%	39.1%	24.4%	19.2%	14.1%	16.0%	12.8%	8.3%	9.0%	1.9%	9.0%
40～44歳	150	41.3%	42.7%	35.3%	16.7%	13.3%	18.0%	9.3%	8.7%	4.7%	2.7%	4.0%
45～49歳	158	44.3%	41.1%	31.6%	24.1%	11.4%	20.9%	7.0%	8.2%	5.1%	2.5%	3.2%
50～54歳	164	56.1%	37.2%	20.7%	20.1%	10.4%	15.2%	13.4%	7.3%	6.1%	4.3%	4.9%
55～59歳	226	55.3%	40.3%	21.7%	18.1%	20.4%	9.3%	11.1%	10.6%	8.0%	1.8%	2.7%
60～64歳	246	58.5%	39.4%	22.0%	14.2%	16.7%	12.6%	11.4%	9.8%	8.5%	1.2%	4.5%
65～69歳	198	60.1%	41.9%	20.2%	13.1%	16.7%	7.1%	13.1%	14.6%	4.5%	4.0%	1.5%
70～74歳	229	65.5%	42.4%	17.0%	15.7%	16.2%	9.2%	9.2%	11.4%	3.9%	2.6%	2.2%
75歳以上	159	64.2%	35.8%	20.8%	15.1%	18.2%	11.3%	10.1%	6.9%	4.4%	0.6%	6.3%
不明	14	50.0%	28.6%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%

網掛けは単純集計結果に比べて10ポイント以上多い項目(「その他」および「不明」は除く)

世帯状況

- ・ 0～14歳の子どもがいる世帯では、「道德教育を充実する」が回答者全体よりも10ポイント以上少ない一方で、「不登校やいじめへの対応を強化する」「少人数学級を実現する」については、5ポイント以上多くなっている。
- ・ 単身世帯では、「道德教育を充実する」が回答者全体よりも10ポイント以上多くなっている。

(表 13-2 学校教育に求められること 世帯状況別)

	回答数	道德教育を充実する	教師の質を向上する	不登校やいじめへの対応を強化する	子どもの学力を向上する	家庭との連携を強化する	少人数学級を実現する	地域との連携を強化する	部活動やクラブ活動を充実する	オープンな教育現場を実現する	活用した情報教育を推進する	パソコンなどを活用した情報教育を推進する	その他
単純集計	2,119	51.2%	38.8%	23.9%	17.4%	15.8%	12.9%	11.1%	10.7%	6.8%	3.3%	4.6%	
0歳～14歳の子どもがいる	405	36.5%	42.0%	28.9%	18.8%	15.1%	19.8%	12.1%	8.1%	8.6%	3.5%	4.7%	
65歳以上の高齢者がいる	843	55.2%	41.8%	22.9%	16.6%	16.3%	10.4%	10.1%	10.0%	4.9%	2.7%	5.1%	
単身世帯	138	64.5%	36.2%	23.9%	18.8%	15.9%	6.5%	8.0%	5.8%	5.8%	5.1%	3.6%	
無回答	834	50.5%	36.5%	22.2%	17.6%	15.3%	14.0%	12.0%	13.2%	7.9%	3.5%	4.6%	

網掛けは単純集計結果に比べて5ポイント以上多い項目(「その他」および「無回答」は除く)

#### 14．生涯学習に関する今後の力点（問14）

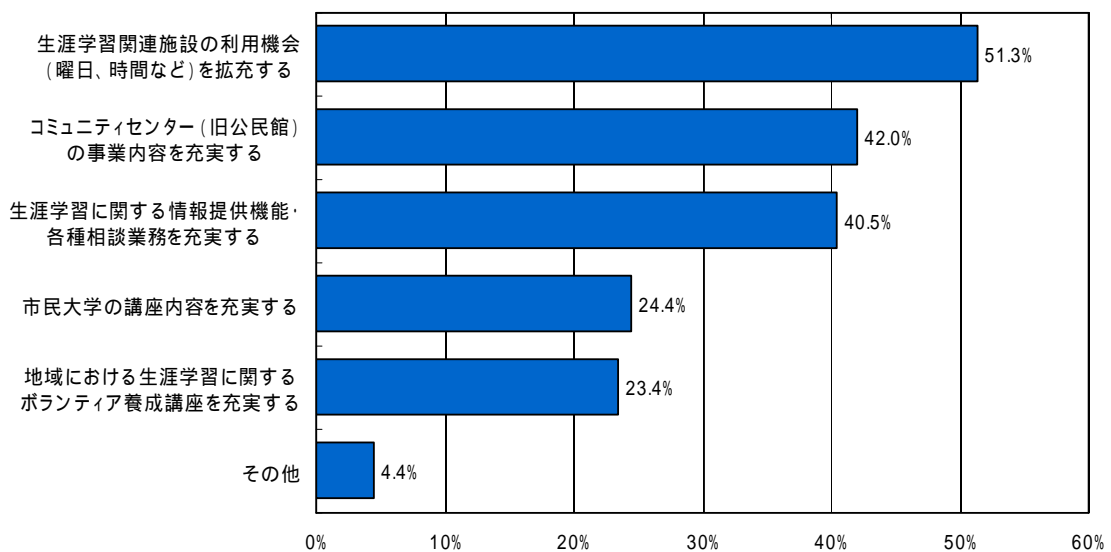
【生涯学習】多様な学習ニーズに対応できる場と機会を充実させるために、横須賀市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

5割強の回答者が施設の利用機会（曜日、時間など）の拡充を求めている。

- ・「生涯学習関連施設の利用機会（曜日、時間など）を拡充する」が51.3%と最も多い。
- ・これに次いで、「コミュニティセンター（旧公民館）の事業内容を充実する」（42.0%）、  
「生涯学習に関する情報提供機能・各種相談業務を充実する」（40.5%）などが多く挙げられている。

（図 14-1 生涯学習に関する今後の力点）

（回答数 2,031 人）



## 15. 環境政策に関する今後の力点（問15）

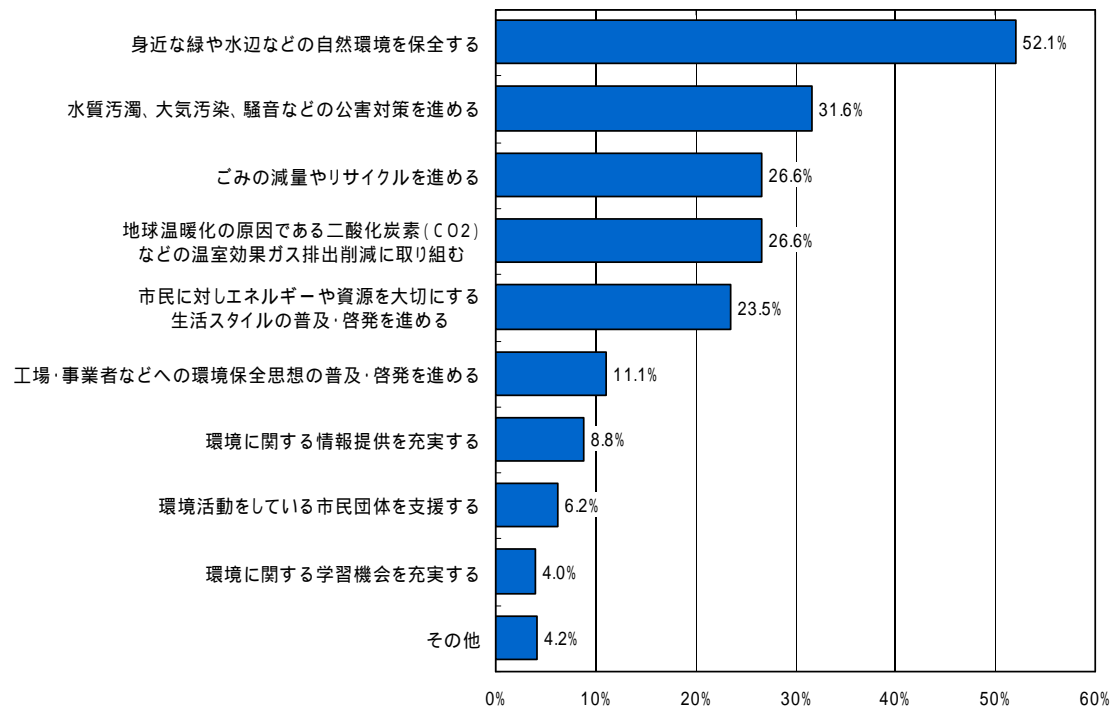
【環境政策】今後、横須賀市に特に力を入れてほしい環境政策はどのようなことですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

5割強の回答者が身近な自然環境の保全を望んでいる。

- ・「身近な緑や水辺などの自然環境を保全する」が52.1%と最も多い。
- ・これに次いで、「水質汚濁、大気汚染、騒音などの公害対策を進める」(31.6%)、「ごみの減量やリサイクルを進める」(26.6%)、「地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガス排出削減に取り組む」(26.6%)などが多く挙げられている。

(図 15-1 環境政策に関する今後の力点)

(回答数 2,120 人)



「環境政策に関する今後の力点」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

年齢

- ・ 回答者全体の平均よりも 10 ポイント以上多い属性別回答が見られる項目は、「ごみの減量やリサイクルを進める」における 15～19 歳である。

(表 15-1 環境政策に関する今後の力点 年齢別)

	回答数	身近な緑や水辺などの自然環境を保全する	水質汚濁 大気汚染 騒音などの公害対策を進める	ごみの減量やリサイクルを進める	地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )などの温室効果ガス排出削減に取り組む	市民に対しエネルギーや資源を大切にする生活スタイルの普及啓発を進める	工場 事業者などへの環境保全思想の普及啓発を進める	環境に関する情報提供を充実する	環境活動をしている市民団体を支援する	環境に関する学習機会を充実する	その他
単純集計	2,120	52.1%	31.6%	26.6%	26.6%	23.5%	11.1%	8.8%	6.2%	4.0%	4.2%
15～19歳	96	45.8%	33.3%	40.6%	21.9%	13.5%	7.3%	6.3%	11.5%	10.4%	5.2%
20～24歳	82	53.7%	41.5%	35.4%	25.6%	14.6%	6.1%	6.1%	6.1%	1.2%	4.9%
25～29歳	102	52.9%	35.3%	29.4%	24.5%	11.8%	12.7%	10.8%	6.9%	3.9%	6.9%
30～34歳	134	53.7%	29.9%	26.9%	26.1%	18.7%	11.9%	10.4%	5.2%	5.2%	3.7%
35～39歳	154	51.9%	29.9%	36.4%	19.5%	20.1%	8.4%	9.1%	4.5%	6.5%	4.5%
40～44歳	152	53.9%	34.9%	21.1%	31.6%	20.4%	12.5%	7.9%	5.3%	1.3%	4.6%
45～49歳	156	47.4%	32.1%	28.8%	29.5%	26.3%	12.8%	7.1%	2.6%	3.2%	4.5%
50～54歳	162	50.0%	35.2%	26.5%	30.2%	22.2%	11.1%	5.6%	8.0%	1.9%	3.7%
55～59歳	226	59.3%	22.6%	19.9%	28.3%	28.3%	11.9%	11.9%	5.3%	4.9%	5.3%
60～64歳	246	57.7%	29.7%	22.0%	24.0%	30.9%	11.4%	9.8%	4.5%	4.1%	3.3%
65～69歳	202	48.0%	31.7%	22.3%	24.8%	27.7%	14.4%	8.9%	9.4%	4.0%	3.5%
70～74歳	233	47.6%	35.2%	26.2%	30.9%	25.8%	9.0%	5.2%	7.7%	3.0%	3.4%
75歳以上	160	51.3%	28.1%	28.1%	23.8%	23.1%	10.6%	13.8%	5.6%	4.4%	3.1%
不明	15	46.7%	40.0%	26.7%	33.3%	26.7%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%

網掛けは単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目(「その他」および「不明」は除く)



## 16. 市民参加型事業への参加状況（問16）

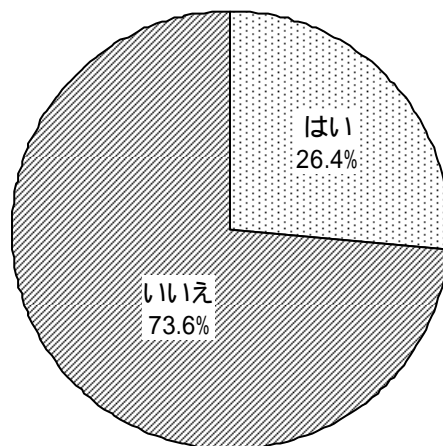
【市民協働】あなたは、地域のまちづくり活動やボランティア活動、NPO活動、市が呼びかけた市民参加型事業に参加、参画していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

市民参加型事業に参加したことがある回答者は3割に満たない。

- ・市民参加型事業に参加したことがある回答者は26.4%にとどまっている。

(図16-1 市民参加型事業への参加状況)

(回答数2,068人)



「市民参加型事業への参加状況」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

### 男女別

- ・参加状況は、男性よりも女性の方が高くなっている。

(表16-1 市民参加型事業への参加状況 男女別)

	回答数	はい	いいえ
単純集計	2,068	26.4%	73.6%
男性	860	22.6%	77.4%
女性	1,197	29.0%	71.0%
不明	11	45.5%	54.5%

## 年齢

- ・ 回答者全体よりも 10 ポイント以上参加していない割合が多い年齢層は 20～34 歳であり、若年層ほど多い。

(表 16-2 市民参加型事業への参加状況 年齢別)

	回答数	はい	いいえ
単純集計	2,068	26.4%	73.6%
15～19歳	92	19.6%	80.4%
20～24歳	82	9.8%	90.2%
25～29歳	101	9.9%	90.1%
30～34歳	136	14.7%	85.3%
35～39歳	155	31.0%	69.0%
40～44歳	150	32.0%	68.0%
45～49歳	155	29.0%	71.0%
50～54歳	164	28.0%	72.0%
55～59歳	226	27.9%	72.1%
60～64歳	237	23.2%	76.8%
65～69歳	194	31.4%	68.6%
70～74歳	216	35.2%	64.8%
75歳以上	150	28.7%	71.3%
不明	10	50.0%	50.0%

網掛けは単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「不明」は除く）

## 職業

- ・ 家事専業・無職、アルバイト等、その他で、参加している割合が回答者全体より多くなっており、会社員・公務員および学生において参加している割合が少なくなっている。

(表 16-3 市民参加型事業への参加状況 職業別)

	回答数	はい	いいえ
単純集計	2,068	26.4%	73.6%
自営等	129	26.4%	73.6%
会社員・公務員	577	17.9%	82.1%
家事専業・無職	863	30.6%	69.4%
アルバイト等	302	30.8%	69.2%
学生	118	19.5%	80.5%
その他	64	35.9%	64.1%
不明	15	40.0%	60.0%

網掛けは、単純集計結果に比べて多い項目（「不明」は除く）

注）設問「職業」の選択肢と職業分類の対応は下記のとおり（以下同様）

自営等：農林漁業、自営（商店・工務店・工場等）、自営（サービス業）、自由業

会社員・公務員：会社員・公務員（事務職・専門職・管理職）、会社員・公務員（販売／サービス）、会社員・公務員（保安・運輸／通信・建設／労務）

家事専業・無職：家事専業、無職

アルバイト等：アルバイト・パートタイマー・派遣社員

学生：学生

その他：その他

(1) 参加した活動の内容 (問16-1)

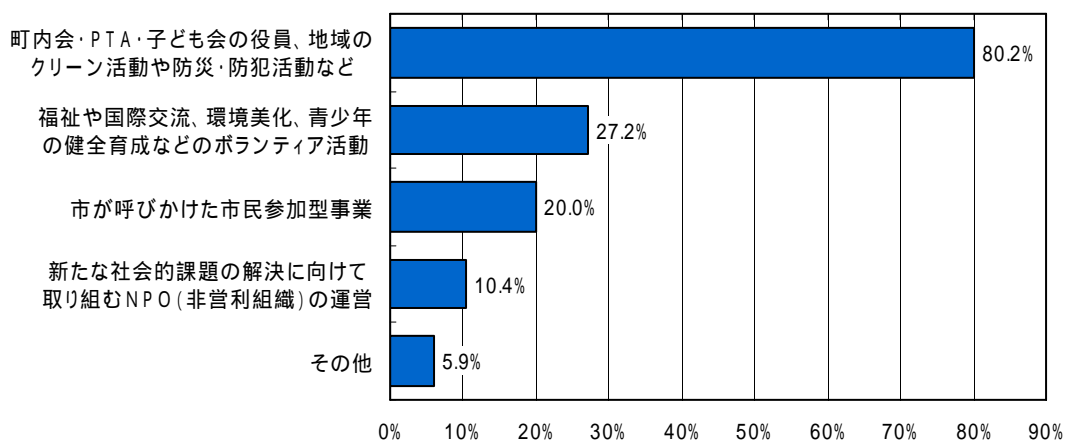
問16で を選んだ方に伺います。あなたが参加、参画しているのはどのような活動ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

「町内会、PTA、子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など」が回答者全体の8割強を占めている。

- ・ 「町内会、PTA、子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など」が80.2%と最も多く、他の項目と比べて突出して多くなっている。
- ・ 上記項目と比べると格差があるが、これに次いで、「福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成などのボランティア活動」(27.2%)が多く挙げられている。

(図16-2 参加した活動の内容)

(回答数 540人)



(2) 市民参加型事業への今後の参加意向（問16-2）

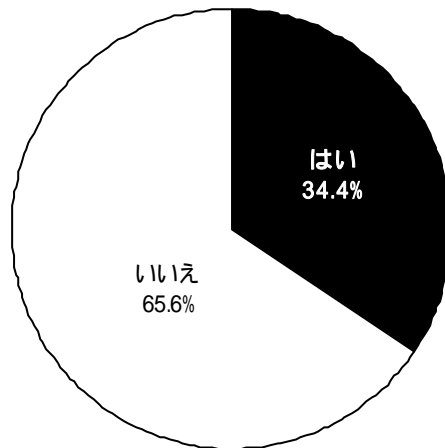
問16でを選んだ方に伺います。今後、これらの活動に参加、参画したいと思いますか。

これまで参加経験のない回答者のうち、今後は参加したいと考えている割合は3割強である。

- ・これまで参加経験のない回答者のうち、今後は参加したいと考えている人の割合は34.4%、今後も参加したいとは考えない人の割合は65.6%となっている。

(図16-3 これまで参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無)

(回答数1,426人)



「これまで参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

男女別

- ・今後は参加したいとする人の割合は、男性よりも女性の方がやや高くなっている。

(表16-4 これまで参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無 男女別)

	回答数	はい	いいえ
単純集計	1,426	34.4%	65.6%
男性	623	32.6%	67.4%
女性	797	35.6%	64.4%
不明	6	50.0%	50.0%

## 年齢

- ・ 40～74歳で今後は参加したいとする人の割合が回答者全体よりも多くなっており、なかでも55～59歳が41.8%で最も多くなっている。

(表 16-5 これまで参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無 年齢別)

	回答数	はい	いいえ
単純集計	1,426	34.4%	65.6%
15～19歳	73	31.5%	68.5%
20～24歳	72	26.4%	73.6%
25～29歳	85	22.4%	77.6%
30～34歳	113	32.7%	67.3%
35～39歳	105	31.4%	68.6%
40～44歳	100	38.0%	62.0%
45～49歳	104	35.6%	64.4%
50～54歳	113	37.2%	62.8%
55～59歳	158	41.8%	58.2%
60～64歳	174	35.6%	64.4%
65～69歳	119	40.3%	59.7%
70～74歳	124	37.9%	62.1%
75歳以上	83	21.7%	78.3%
不明	3	33.3%	66.7%

網掛けは、単純集計結果に比べて多い項目（「不明」は除く）

## 職業

- ・ 家事専業・無職、その他で今後は参加したいとする人の割合が回答者全体よりも多くなっている一方、学生は30.1%と最も参加意向が低くなっている。

(表 16-6 これまで参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無 職業別)

	回答数	はい	いいえ
単純集計	1,426	34.4%	65.6%
自営等	91	34.1%	65.9%
会社員・公務員	451	33.9%	66.1%
家事専業・無職	546	35.5%	64.5%
アルバイト等	200	33.0%	67.0%
学生	93	30.1%	69.9%
その他	40	42.5%	57.5%
不明	5	20.0%	80.0%

網掛けは、単純集計結果に比べて高い項目（「不明」は除く）

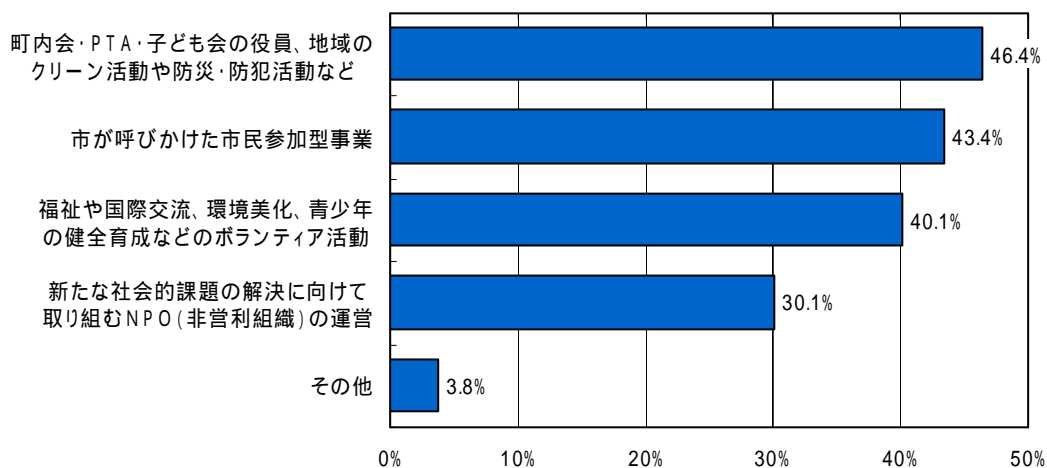
(問 16-2 で「はい」(今後、参加、参画したい)の場合)それはどのような活動ですか。  
あてはまるものすべてを選んでください。

「町内会、PTA、子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など」  
が最も多く回答者全体の5割弱を占めている。

- ・ 「町内会、PTA、子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など」が46.4%と最も多い。
- ・ これに次いで、「市が呼びかけた市民参加型事業」(43.4%)、「福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成などのボランティア活動」(40.1%)などが多く挙げられている。

(図 16-4 これまで参加経験がない回答者が今後参加したい活動)

(回答数 392 人)

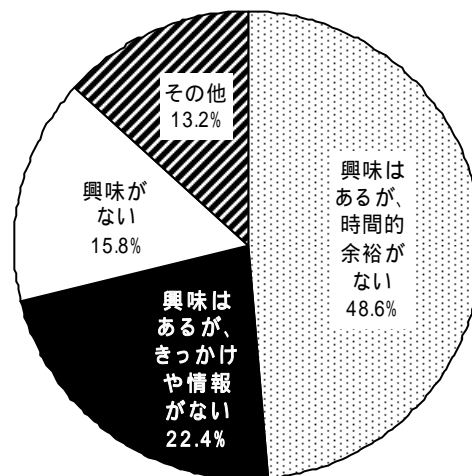


(問 16-2で「いいえ」(今後も参加、参画したくない)の場合)それはなぜですか。  
あてはまるものを1つだけ選んでください。

「興味はあるが時間的余裕がない」「興味はあるがきっかけや情報がない」を合わせて7割強を占めており、関心は抱いているものの行動には結びついていない状況にある。

- ・「興味はあるが時間的余裕がない」(48.6%)が最も多く、「興味はあるがきっかけや情報がない」(22.4%)を合わせ、7割強の回答者が関心は抱いているものの行動には結びついていない状況にある。
- ・また「興味がない」とする回答者は15.8%であった。

(図 16-5 これまで参加経験がない回答者が今後も参加しない理由)  
(回答数 869人)



## 17. 男女共同参画に関する今後の力点（問17）

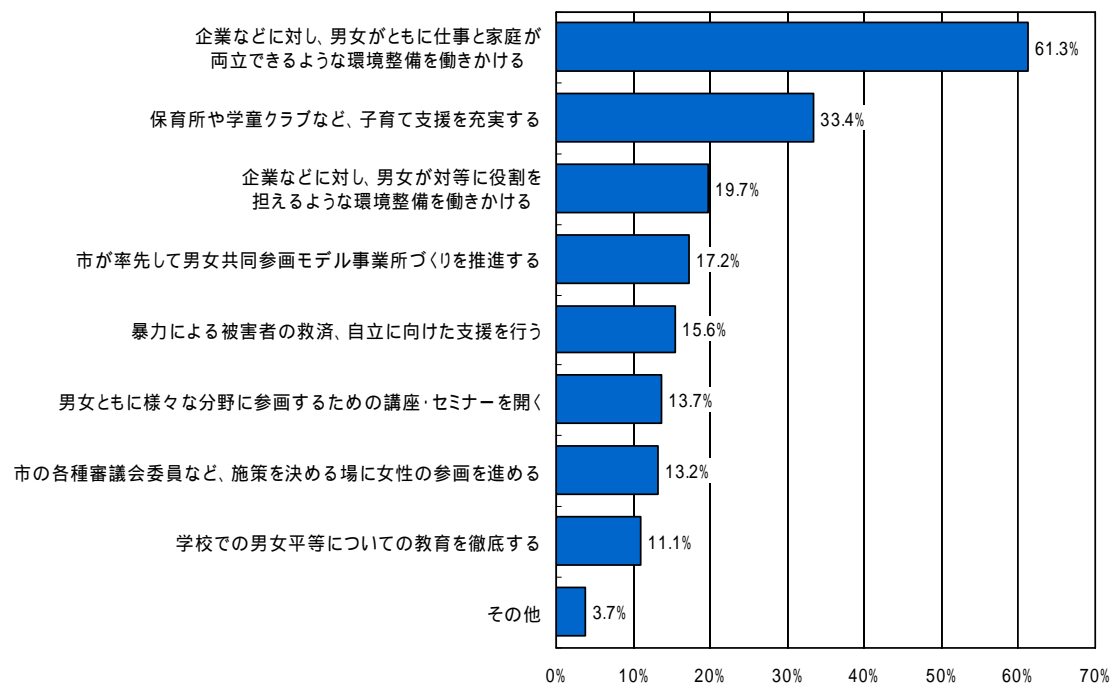
【男女共同参画】男女が互いに人権を尊重しつつ責任を分かちあい、家庭や地域、職場などでその個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現のために、横須賀市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

「男女共同参画社会」の実現のために、男女がともに仕事と家庭が両立できるような企業への環境整備の働きかけが求められている。

- ・「企業などに対し、男女がともに仕事と家庭が両立できるような環境整備を働きかける」が最も多く、回答者全体の61.3%を占めている。
- ・これに次いで、「保育所や学童クラブなど、子育て支援を充実する」(33.4%)が多く挙げられている。

(図 17-1 男女共同参画に関する今後の力点)

(回答数 2,005 人)







年齢

- ・ 回答者全体より 10 ポイント以上多い属性別回答は少なく、年齢による傾向の差は小さい。
- ・ その中で、「企業などに対し、男女がともに仕事と家庭が両立できるような環境整備を働きかける」については、25～29歳で回答者全体を 12.7 ポイント上回っており、家庭を持ち始める世代での意識が高いことがうかがえる。
- ・ また、「保育所や学童クラブなど、子育て支援を充実する」については、30～34歳で回答者全体を 16.6 ポイントも上回る値となっており、子育てを始めると考えられる世代での意識が高くなっている。

(表 17-2 男女共同参画に関する今後の力点 年齢別)

	回答数	整備を働かせる	企業などに対し、男女がともに仕事と家庭が両立できるような環境を整備を働かせる	保育所や学童クラブなど、子育て支援を充実する	企業などに対し、男女が対等に役割を担えるような環境整備を働かせる	企業が率先して男女共同参画モデル事業所づくりを推進する	市が率先して男女共同参画モデル事業所づくりを推進する	暴力による被害者の救済、自立にむけた支援を行う	男女ともに様々な分野に参画するための講座・セミナーを開く	市の各種審議会委員など、施策を決める場に女性の参画を進める	学校での男女平等についての教育を徹底する	その他
単純集計	2,005	61.3%	33.4%	19.7%	17.2%	15.6%	13.7%	13.2%	11.1%	3.7%		
15～19歳	95	60.0%	30.5%	29.5%	15.8%	18.9%	13.7%	4.2%	15.8%	2.1%		
20～24歳	81	65.4%	27.2%	28.4%	17.3%	22.2%	6.2%	6.2%	9.9%	4.9%		
25～29歳	100	74.0%	41.0%	21.0%	10.0%	18.0%	3.0%	13.0%	1.0%	6.0%		
30～34歳	132	67.4%	50.0%	15.9%	10.6%	12.1%	5.3%	6.1%	6.8%	6.1%		
35～39歳	153	62.1%	42.5%	18.3%	12.4%	17.0%	7.8%	7.2%	10.5%	7.2%		
40～44歳	145	64.8%	38.6%	21.4%	18.6%	14.5%	10.3%	10.3%	9.7%	2.8%		
45～49歳	155	62.6%	32.3%	29.0%	11.6%	16.1%	12.3%	11.0%	8.4%	4.5%		
50～54歳	159	62.3%	37.1%	17.6%	18.9%	18.2%	10.7%	13.8%	8.2%	2.5%		
55～59歳	217	63.6%	27.6%	17.5%	21.7%	12.4%	17.1%	18.9%	7.8%	5.1%		
60～64歳	226	61.1%	31.9%	16.4%	18.6%	14.2%	19.0%	14.6%	12.4%	2.7%		
65～69歳	183	55.7%	31.7%	15.8%	23.0%	12.0%	19.7%	21.3%	13.1%	1.1%		
70～74歳	207	55.6%	25.1%	20.3%	18.8%	13.0%	20.3%	13.5%	18.4%	3.4%		
75歳以上	139	50.4%	25.2%	15.8%	19.4%	20.9%	18.7%	19.4%	17.3%	1.4%		
不明	13	61.5%	38.5%	7.7%	7.7%	30.8%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%		

網掛けは単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「その他」および「不明」は除く）

## 18. 市ホームページの機能充実（問18）

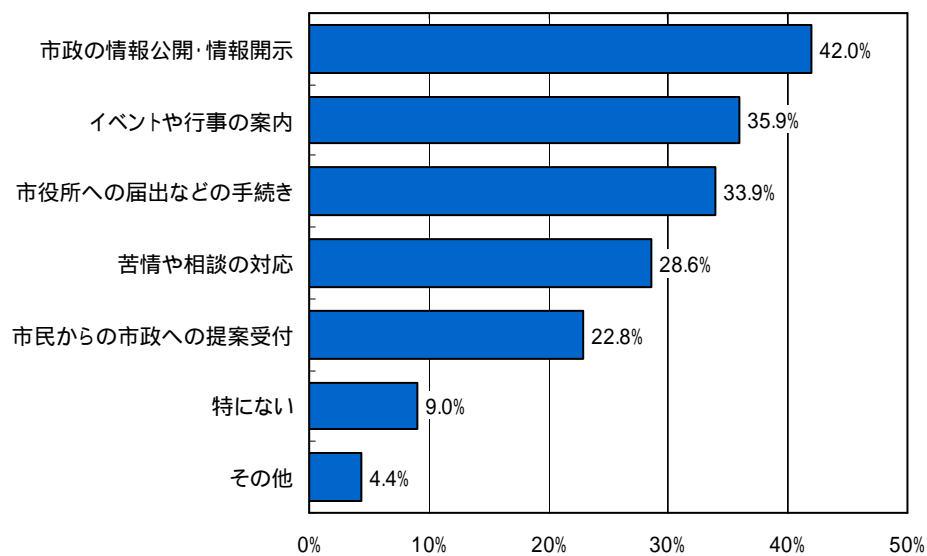
【情報化】横須賀市のホームページで充実してほしい機能は、どのようなものですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

「市政の情報公開・情報開示」が最も多く、回答者全体の4割強を占めている。

- ・「市政の情報公開・情報開示」が42.0%で最も多く、これに次いで「イベントや行事の案内」(35.9%)、「市役所への届出などの手続き」(33.9%)、「苦情や相談の対応」(28.6%)などが多く挙げられており、まずは基礎的な情報提供を前提とし、その上で届出手続きや苦情相談、提案受付といった双方向のやりとりが求められている。

(図 18-1 市ホームページの機能充実)

(回答数 2,040 人)



「市ホームページの機能充実」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

男女別

- ・「市政の情報公開・情報開示」では、男性が女性より 5.1 ポイント高く、「イベントや行事の案内」では女性が男性より 8.1 ポイント高くなっている。

(表 18-1 市ホームページの機能充実 男女別)

	回答数	市政の情報公開・ 情報開示	イベントや行事の 案内	市役所への届出な どの手続き	苦情や相談の対応	市民からの市政への 提案受付	特 に な い	そ の 他
単純集計	2,040	42.0%	35.9%	33.9%	28.6%	22.8%	9.0%	4.4%
男性	855	45.0%	31.3%	32.0%	31.1%	25.5%	9.0%	4.1%
女性	1,174	39.9%	39.4%	35.3%	26.6%	21.0%	9.0%	4.5%
不明	11	27.3%	27.3%	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	18.2%

網掛けは、男女間で 5 ポイント以上の差がみられる項目（「その他」および「不明」は除く）

年齢

- ・ 情報提供に関する機能についてみると、「市政の情報公開・情報開示」については、45歳以上の世代で回答者全体を上回っており、「イベントや行事の案内」については50歳未満の世代で回答者全体を上回っている。
- ・ 「市役所への届出などの手続き」については、届出の必要性が少ない20歳未満を除き、55歳未満の世代で回答者全体を上回っているが、55歳以上の世代では60～64歳を除いて回答者全体を下回っている。
- ・ 「苦情や相談の対応」については、20歳未満と55歳以上で回答者全体を上回っており、「市民からの市政への提案受付」については60～64歳を除く50歳以上で回答者全体を上回っている。

(表 18-2 市ホームページの機能充実 年齢別)

	回答数	市政の情報公開・ 情報開示	イベントや行事の 案内	市役所への届出 などの手続き	苦情や相談の 対応	市民からの 市政への提案受付	特 に な い	そ の 他
単純集計	2,040	42.0%	35.9%	33.9%	28.6%	22.8%	9.0%	4.4%
15～19歳	94	26.6%	48.9%	28.7%	29.8%	18.1%	14.9%	1.1%
20～24歳	83	36.1%	43.4%	47.0%	26.5%	16.9%	8.4%	3.6%
25～29歳	104	25.0%	42.3%	50.0%	16.3%	20.2%	9.6%	10.6%
30～34歳	133	23.3%	39.8%	45.9%	25.6%	18.8%	10.5%	4.5%
35～39歳	154	39.6%	39.0%	42.2%	21.4%	22.7%	6.5%	4.5%
40～44歳	145	37.9%	49.7%	35.2%	23.4%	20.7%	8.3%	3.4%
45～49歳	156	42.3%	44.2%	39.1%	27.6%	16.7%	5.1%	3.8%
50～54歳	158	46.8%	29.1%	38.0%	27.2%	23.4%	8.9%	3.2%
55～59歳	214	47.7%	31.3%	31.8%	30.4%	29.0%	8.4%	4.2%
60～64歳	229	46.7%	33.6%	34.5%	38.4%	20.5%	6.1%	3.5%
65～69歳	183	49.2%	25.7%	20.8%	29.5%	31.1%	10.4%	7.1%
70～74歳	221	48.0%	31.2%	21.7%	33.0%	23.5%	11.3%	5.4%
75歳以上	153	51.6%	30.1%	27.5%	28.8%	26.1%	9.8%	1.3%
不明	13	30.8%	7.7%	7.7%	46.2%	23.1%	23.1%	15.4%

網掛けは、単純集計結果より多い項目（「その他」および「不明」は除く）

## 19. 施設に対するニーズ（問19）

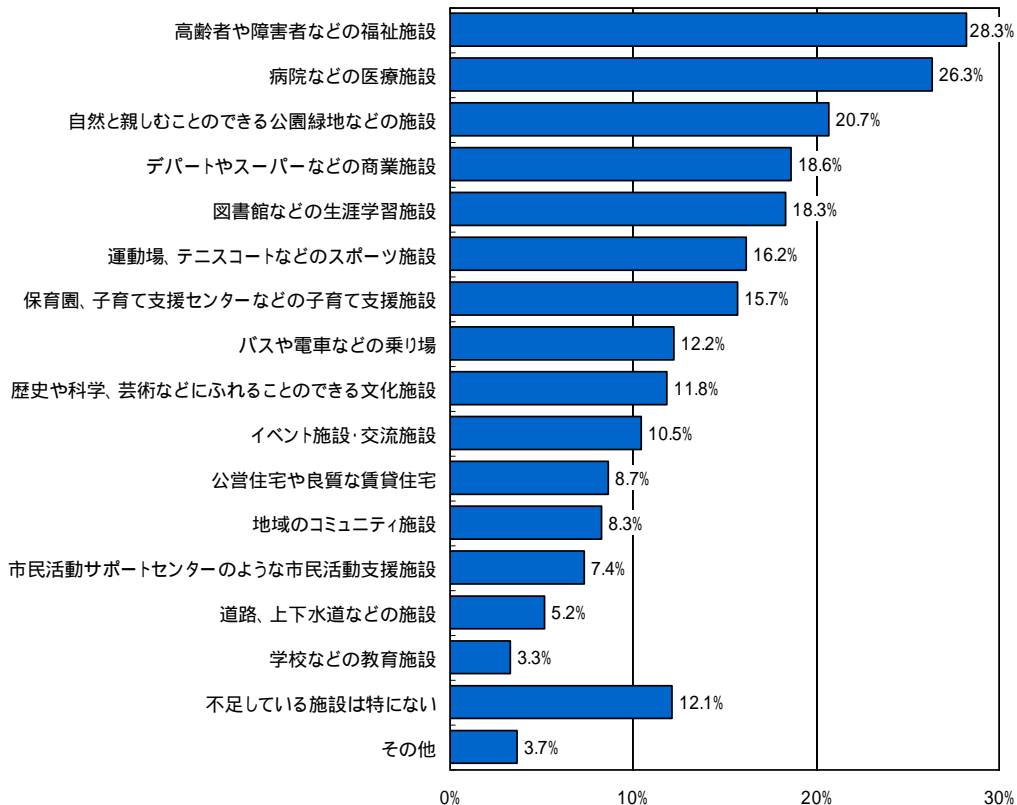
【施設に対するニーズ】現在お住まいの地域に特に不足していると感じている施設は、何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。  
また、具体的な施設名があればお書きください。

地域に不足しているものとして、医療・福祉施設へのニーズが高い。

- ・「高齢者や障害者などの福祉施設」が28.3%と最も多く、これに次いで「病院などの医療施設」(26.3%)と、医療・福祉施設へのニーズが高い。
- ・以下、「自然と親しむことのできる公園緑地などの施設」(20.7%)が2割を超えているが、他の施設は2割以下となっている。
- ・一方「不足している施設は特にない」も12.1%みられた。

(図 19-1 施設に対するニーズ)

(回答数 2,060 人)



・各施設について、具体的な施設名の記載があったものを整理すると、表 19-1 となる。

(表 19-1 施設に対するニーズ 具体的な施設名)

施設	具体的な施設名など(主なもの)
高齢者や障害者などの福祉施設	・特別養護老人ホーム ・高齢者が気軽にいつでも集える施設 ・自立訓練施設、リハビリセンター ・老人と子どもと一緒に活動できる場所
病院などの医療施設	・公的医療機関 ・救急医療施設 ・総合的病院 ・認知症の受入病院や施設 ・小児科 ・産婦人科 ・高度な医療が受けられる病院
自然と親しむことのできる公園緑地などの施設	・木々の豊かな林や森のある公園(森林公園) ・身近な公園の整備 ・横になることができる芝生のある公園 ・遊具のある公園 ・ドッグラン施設
デパートやスーパーなどの商業施設	・コンビニ ・百貨店 ・大型スーパー ・ファミリーレストラン ・薬局、雑貨などの店
図書館などの生涯学習施設	・図書館 ・ピアノのある音楽室やスタジオ
運動場、テニスコートなどのスポーツ施設	・野球やサッカーなど子どもがのびのび遊べる広場 ・公営プール、温水プール ・室内体育館 ・トレーニング施設 ・ボウリング場 ・老人用のスポーツ施設 ・ドーム球場
保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設	・夕方まで低価格で託児できる場所 ・子育て支援センター ・保育園 ・障害児への療育センター等の支援施設の充実
バスや電車などの乗り場	・バス便の増加 ・深夜バス ・市内循環バス ・鉄道網の整備 ・駅のエレベーター、エスカレーター ・バス停の屋根
歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設	・小さな美術館 ・横浜にあるような科学館 ・プラネタリウムや遊びながら学べる歴史館
イベント施設・交流施設	・遊園地 ・動物園 ・日帰り温泉(クア施設)
公営住宅や良質な賃貸住宅	・安価な公営マンション
地域のコミュニティ施設	・コミュニティセンター ・町内会館の充実
市民活動サポートセンターのような市民活動支援施設	(具体的な記述はない)
道路、下水道などの施設	・カーブミラーの設置 ・ガードレールの設置 ・踏切を回避する道 ・車いすで通行できる道 ・散歩をして楽しい道 ・海岸線にサイクル&遊歩道を整備
学校などの教育施設	・総合大学 ・私立学校
その他	・公衆トイレ ・郵便局 ・交番 ・銀行 ・ごみ置き場と資源回収置き場 ・(無料の)駐車場や駐輪場 ・生け垣や花壇 ・防災・防火施設

「施設に対するニーズ」について、属性別の上位5位でみると、次のような傾向がみられる。

#### 男女別

- ・男女ともに第1位に挙げているのは、「高齢者や障害者などの福祉施設」であり、第2位は「病院などの医療施設」と、回答者全体と同様の傾向を示している。
- ・一方で全体で第3位の「自然と親しむことのできる公園緑地などの施設」(20.7%)は、男性でも同様に第3位であるが、女性では第4位(19.4%)であり、回答者全体では第4位の「デパートやスーパーなどの商業施設」(18.6%)が女性では第3位(20.3%)となっている。

(表 19-2 施設に対するニーズ 男女別)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
単純集計	2,060	高齢者や障害者などの福祉施設	病院などの医療施設	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設	デパートやスーパーなどの商業施設	図書館などの生涯学習施設
		28.3%	26.3%	20.7%	18.6%	18.3%
男性	865	高齢者や障害者などの福祉施設	病院などの医療施設	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設	図書館などの生涯学習施設
		29.0%	24.9%	22.8%	19.5%	18.5%
女性	1,185	高齢者や障害者などの福祉施設	病院などの医療施設	デパートやスーパーなどの商業施設	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設	図書館などの生涯学習施設
		27.7%	27.3%	20.3%	19.4%	18.4%
不明	10	病院などの医療施設	歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設		保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設	
			高齢者や障害者などの福祉施設		デパートやスーパーなどの商業施設	
					バスや電車などの乗り場	
					地域のコミュニティ施設	
					不足している施設は特にない	
40.0%	30.0%	20.0%				



年齢

- ・ 回答者全体の第1位である「高齢者や障害者などの福祉施設」とは異なるものを第1位に挙げているのは、15～19歳および35～39歳の「デパートやスーパーなどの商業施設」、20～24歳の「運動場、テニスコートなどのスポーツ施設」、30～34歳の「保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設」、25～29歳、40歳代及び55～59歳の「病院などの医療施設」である。

(表 19-3 施設に対するニーズ 年齢別)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
単純集計	2,060	高齢者や障害者などの福祉施設 28.3%	病院などの医療施設 26.3%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 20.7%	デパートやスーパーなどの商業施設 18.6%	図書館などの生涯学習施設 18.3%
15～19歳	96	デパートやスーパーなどの商業施設 35.4%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 25.0%	バスや電車などの乗り場 自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 22.9%		図書館などの生涯学習施設 19.8%
20～24歳	83	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 28.9%	デパートやスーパーなどの商業施設 26.5%	病院などの医療施設 22.9%	図書館などの生涯学習施設 21.7%	高齢者や障害者などの福祉施設 20.5%
25～29歳	102	病院などの医療施設 31.4%	デパートやスーパーなどの商業施設 29.4%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 22.5%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 20.6%	図書館などの生涯学習施設 19.6%
30～34歳	134	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 29.1%	デパートやスーパーなどの商業施設 25.4%	病院などの医療施設 24.6%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 23.1%	バスや電車などの乗り場 14.9%
35～39歳	153	デパートやスーパーなどの商業施設 28.8%	病院などの医療施設 26.8%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 22.2%	図書館などの生涯学習施設 自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 20.3%	
40～44歳	148	病院などの医療施設 25.7%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 23.6%	デパートやスーパーなどの商業施設 23.0%	高齢者や障害者などの福祉施設 19.6%	図書館などの生涯学習施設 18.9%
45～49歳	157	病院などの医療施設 29.3%	高齢者や障害者などの福祉施設 22.9%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 デパートやスーパーなどの商業施設 21.7%		図書館などの生涯学習施設 17.8%
50～54歳	161	高齢者や障害者などの福祉施設 29.8%	病院などの医療施設 26.1%	図書館などの生涯学習施設 25.5%	歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設 不足している施設は特になし 16.8%	
55～59歳	216	病院などの医療施設 29.6%	高齢者や障害者などの福祉施設 28.7%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 24.5%	デパートやスーパーなどの商業施設 18.5%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 図書館などの生涯学習施設 17.6%
60～64歳	233	高齢者や障害者などの福祉施設 35.6%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 24.9%	病院などの医療施設 24.0%	図書館などの生涯学習施設 17.6%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 不足している施設は特になし 16.3%
65～69歳	194	高齢者や障害者などの福祉施設 32.5%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 22.7%	図書館などの生涯学習施設 21.6%	病院などの医療施設 20.6%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 18.6%
70～74歳	220	高齢者や障害者などの福祉施設 44.5%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 30.0%	病院などの医療施設 27.7%	歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設 19.5%	図書館などの生涯学習施設 14.1%
75歳以上	150	高齢者や障害者などの福祉施設 48.0%	病院などの医療施設 31.3%	デパートやスーパーなどの商業施設 17.3%	図書館などの生涯学習施設 15.3%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 13.3%
不明	13	高齢者や障害者などの福祉施設 38.5%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 病院などの医療施設 30.8%		バスや電車などの乗り場 23.1%	歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設 学校などの教育施設 15.4%

居住地域

- ・ 回答者全体の第1位である「高齢者や障害者などの福祉施設」とは異なるものを第1位に挙げているのは、田浦地域の「デパートやスーパーなどの商業施設」、逸見地域・浦賀地域・久里浜地域・北下浦地域の「病院などの医療施設」、西地域の「バスや電車などの乗り場」である。

(表 19-4 施設に対するニーズ 居住地域別)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
単純集計	2,060	高齢者や障害者などの福祉施設 28.3%	病院などの医療施設 26.3%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 20.7%	デパートやスーパーなどの商業施設 18.6%	図書館などの生涯学習施設 18.3%
本庁地域	283	高齢者や障害者などの福祉施設 26.5%	病院などの医療施設 20.8%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 20.5%	不足している施設は特にな 20.1%	図書館などの生涯学習施設 17.7%
追浜地域	146	高齢者や障害者などの福祉施設 35.6%	デパートやスーパーなどの商業施設 31.5%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 22.6%	病院などの医療施設 19.9%	歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設 保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 15.8%
田浦地域	103	デパートやスーパーなどの商業施設 40.8%	高齢者や障害者などの福祉施設 24.3%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 23.3%	図書館などの生涯学習施設 病院などの医療施設 自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 22.3%	
逸見地域	58	病院などの医療施設 27.6%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 22.4%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 20.7%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 20.7%	不足している施設は特にな 19.0%
衣笠地域	314	高齢者や障害者などの福祉施設 27.7%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 25.5%	病院などの医療施設 25.2%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 21.3%	図書館などの生涯学習施設 20.7%
大津地域	248	高齢者や障害者などの福祉施設 33.5%	図書館などの生涯学習施設 26.2%	病院などの医療施設 25.0%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 20.6%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 17.7%
浦賀地域	250	病院などの医療施設 31.2%	高齢者や障害者などの福祉施設 28.0%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 22.8%	デパートやスーパーなどの商業施設 22.4%	図書館などの生涯学習施設 20.4%
久里浜地域	271	病院などの医療施設 38.4%	高齢者や障害者などの福祉施設 34.3%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 17.3%	保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 15.1%	15.1%
北下浦地域	164	病院などの医療施設 28.7%	自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 28.0%	高齢者や障害者などの福祉施設 22.0%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 20.1%	図書館などの生涯学習施設 19.5%
西地域	203	バスや電車などの乗り場 33.5%	デパートやスーパーなどの商業施設 25.6%	高齢者や障害者などの福祉施設 22.2%	運動場、テニスコートなどのスポーツ施設 20.2%	病院などの医療施設 18.7%
不明	20	病院などの医療施設 高齢者や障害者などの福祉施設 35.0%		保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設 自然と親しむことのできる公園緑地などの施設 30.0%		バスや電車などの乗り場 15.0%

## 20 . 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ（問20）

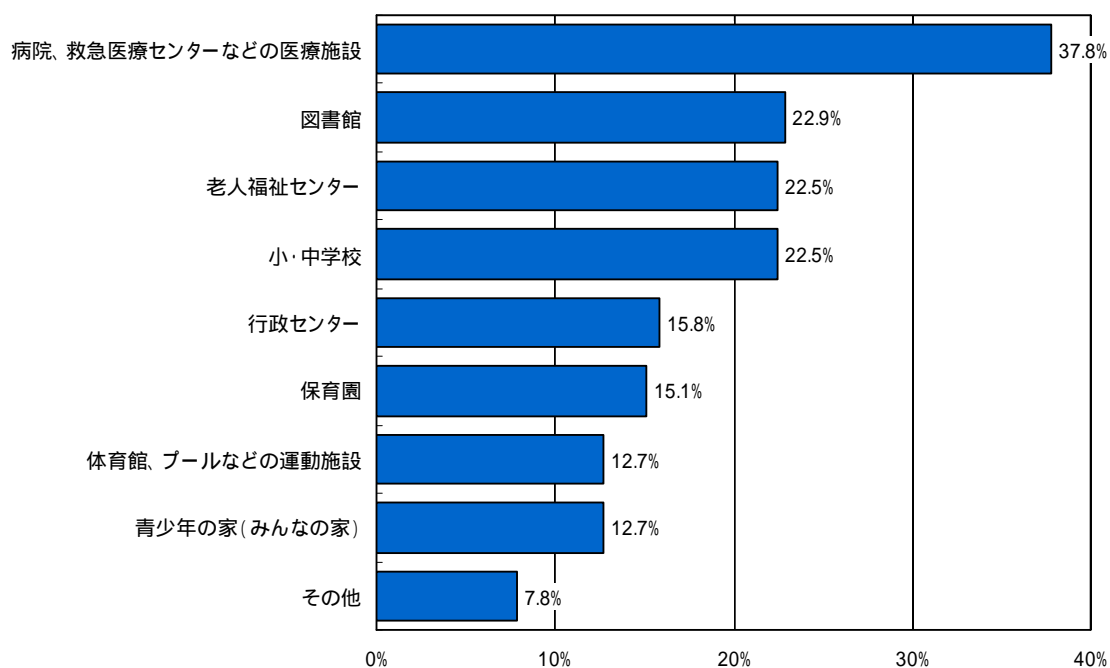
【施設の機能強化・建て直し】現在ある市が設置している施設で機能強化または建て直しが必要と思う施設はありますか。次の中から必要度が高いと思うものを2つまで選んでください。

病院、救急医療センターなどの医療施設の機能強化・建て直しに対するニーズが、他の市営施設と比較して多い。

- ・「病院、救急医療センターなどの医療施設」が37.8%と他の施設と比較して多い。
- ・これに次いで、「図書館」(22.9%)、「老人福祉センター」(22.5%)、「小・中学校」(22.5%)などが多く挙げられている。

(図 20-1 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ)

(回答数 1,572 人)



「施設の機能強化・建て直しに対するニーズ」について、属性別の上位5位でみると、次のような傾向がみられる。

男女別

- ・男女ともに第1位に挙げているのは、回答者全体と同様に、「病院、救急医療センターなどの医療施設」であるが、第2位は、男性では「老人福祉センター」(25.0%)、女性では「小・中学校」(24.4%)となっている。

(表 20-1 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ 男女別)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
単純集計	1,572	病院、救急医療センターなどの医療施設	図書館	老人福祉センター		行政センター
		37.8%	22.9%	22.5%		15.8%
男性	675	病院、救急医療センターなどの医療施設	老人福祉センター	図書館	小・中学校	行政センター
		38.8%	25.0%	23.0%	20.0%	16.6%
女性	889	病院、救急医療センターなどの医療施設	小・中学校	図書館	老人福祉センター	保育園
		37.0%	24.4%	22.9%	20.7%	17.1%
不明	8	病院、救急医療センターなどの医療施設	行政センター		小・中学校	
			青少年の家(みんなの家)		図書館	
					体育館、プールなどの運動施設	
					老人福祉センター	
					その他	
		37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%

年齢

- ・ 回答者全体の第1位である「病院、救急医療センターなどの医療施設」とは異なるものを第1位に挙げているのは、15～19歳の「小・中学校」と70～74歳の「老人福祉センター」である。
- ・ 一方第2位についてみると、30歳未満及び50歳代は「図書館」を、30～34歳では「保育園」を、35～49歳では「小・中学校」を、60歳代及び75歳以上では「老人福祉センター」を、70～74歳では「病院、救急医療センターなどの医療施設」を挙げており、子育て世代は保育・学校、若年世代と子育て終了世代は図書館、60歳以上では医療・福祉施設に対する機能強化・建て直しのニーズが高い。

(表 20-2 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ 年齢別)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
単純集計	1,572	病院、救急医療センターなどの医療施設 37.8%	図書館 22.9%	老人福祉センター 小・中学校 22.5%		行政センター 15.8%
15～19歳	82	小・中学校 46.3%	図書館 28.0%	病院、救急医療センターなどの医療施設 23.2%	青少年の家(みんなの家) 18.3%	体育館、プールなどの運動施設 14.6%
20～24歳	67	病院、救急医療センターなどの医療施設 35.8%	図書館 34.3%	小・中学校 31.3%	老人福祉センター 17.9%	保育園 13.4%
25～29歳	89	病院、救急医療センターなどの医療施設 44.9%	図書館 29.2%	小・中学校 25.8%	行政センター 15.7%	保育園 13.5%
30～34歳	107	病院、救急医療センターなどの医療施設 38.3%	保育園 28.0%	小・中学校 26.2%	図書館 17.8%	行政センター 16.8%
35～39歳	126	病院、救急医療センターなどの医療施設 39.7%	小・中学校 32.5%	図書館 22.2%	青少年の家(みんなの家) 16.7%	行政センター 15.1%
40～44歳	119	病院、救急医療センターなどの医療施設 41.2%	小・中学校 31.9%	図書館 24.4%	体育館、プールなどの運動施設 青少年の家(みんなの家) 13.4%	
45～49歳	123	病院、救急医療センターなどの医療施設 43.9%	小・中学校 29.3%	老人福祉センター 20.3%	保育園 図書館 19.5%	
50～54歳	126	病院、救急医療センターなどの医療施設 35.7%	図書館 23.8%	小・中学校 22.2%	老人福祉センター 19.8%	青少年の家(みんなの家) 16.7%
55～59歳	166	病院、救急医療センターなどの医療施設 37.3%	図書館 26.5%	老人福祉センター 25.9%	保育園 21.7%	行政センター 17.5%
60～64歳	163	病院、救急医療センターなどの医療施設 36.2%	老人福祉センター 33.7%	図書館 19.6%	行政センター 17.8%	小・中学校 16.6%
65～69歳	141	病院、救急医療センターなどの医療施設 36.2%	老人福祉センター 29.8%	図書館 25.5%	行政センター 21.3%	保育園 12.8%
70～74歳	153	老人福祉センター 37.9%	病院、救急医療センターなどの医療施設 35.9%	行政センター 18.3%	図書館 16.3%	小・中学校 13.7%
75歳以上	102	病院、救急医療センターなどの医療施設 40.2%	老人福祉センター 37.3%	図書館 20.6%	行政センター 17.6%	小・中学校 13.7%
不明	8	病院、救急医療センターなどの医療施設 50.0%	行政センター 体育館、プールなどの運動施設 老人福祉センター その他 25.0%			

居住地域

- ・すべての地域で第1位は回答者全体と同様に「病院、救急医療センターなどの医療施設」である。
- ・一方で第2位については、田浦地域・逸見地域・大津地域・西地域で回答者全体と同様の「図書館」となっているが、本庁地域・衣笠地域・浦賀地域で「小・中学校」が、追浜地域・久里浜地域・北下浦地域で「老人福祉センター」となっている。

(表 20-3 施設の機能強化・建て直しに対するニーズ 居住地域別)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
単純集計	1,572	病院、救急医療センターなどの医療施設	図書館	老人福祉センター		行政センター
		37.8%	22.9%	小・中学校 22.5%		15.8%
本庁地域	217	病院、救急医療センターなどの医療施設	小・中学校	図書館	老人福祉センター	保育園
		31.3%	30.0%		24.0%	21.7%
追浜地域	106	病院、救急医療センターなどの医療施設	老人福祉センター	青少年の家(みんなの家)	小・中学校	保育園
		31.1%	29.2%	25.5%	20.8%	19.8%
田浦地域	81	病院、救急医療センターなどの医療施設	図書館	老人福祉センター	小・中学校	体育館、プールなどの運動施設
		45.7%	27.2%	21.0%	18.5%	16.0%
逸見地域	43	病院、救急医療センターなどの医療施設	図書館	老人福祉センター	保育園	行政センター
		37.2%	27.9%	23.3%	16.3%	14.0%
衣笠地域	247	病院、救急医療センターなどの医療施設	小・中学校	図書館	老人福祉センター	保育園
		40.5%	23.1%	22.3%	20.6%	16.2%
大津地域	190	病院、救急医療センターなどの医療施設	図書館	行政センター	老人福祉センター	小・中学校
		33.2%	31.1%	23.2%	22.1%	21.1%
浦賀地域	196	病院、救急医療センターなどの医療施設	小・中学校	行政センター	図書館	
		31.6%	26.0%	24.0%	老人福祉センター 20.4%	
久里浜地域	219	病院、救急医療センターなどの医療施設	老人福祉センター	小・中学校	行政センター	図書館
		45.7%	21.9%	21.5%	17.4%	16.4%
北下浦地域	120	病院、救急医療センターなどの医療施設	老人福祉センター	図書館	小・中学校	行政センター
		40.8%	24.2%	21.7%	20.8%	18.3%
西地域	137	病院、救急医療センターなどの医療施設	図書館	老人福祉センター	体育館、プールなどの運動施設	小・中学校
		42.3%	22.6%	21.9%	20.4%	18.2%
不明	16	病院、救急医療センターなどの医療施設	行政センター		保育園	図書館
		50.0%	老人福祉センター 25.0%		18.8%	青少年の家(みんなの家) その他 12.5%

## 2 1 . 生活に役立つ情報の入手先 (問 2 1 )

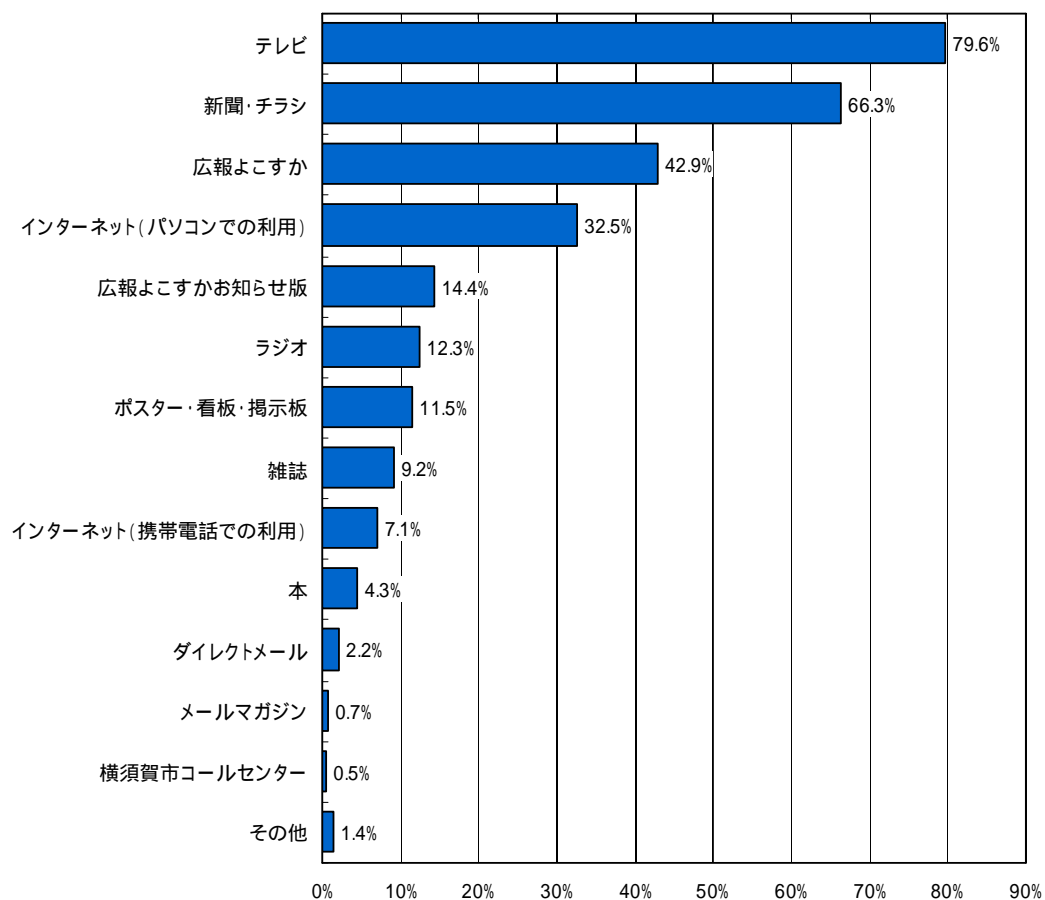
【情報の入手先】あなたは、日常生活の中で役立つ情報をどのようなものから手に入れることが多いですか。次の中から主なものを3つまで選んでください。

「テレビ」が最も多く回答者全体の8割弱を占めており、「新聞・チラシ」がこれに次いで回答者全体の7割弱を占めている。

- ・ 「テレビ」(79.6%)、「新聞・チラシ」(66.3%)が上位に挙げられており、両項目とも回答者全体の7割弱～8割弱を占めている。
- ・ また、これらに次いで「広報よこすか」(42.9%)、「インターネット(パソコンでの利用)」(32.5%)が多く挙げられており、これら以外の媒体は2割以下である。

(図 21-1 生活に役立つ情報の入手先)

(回答数 2,141 人)



「生活に役立つ情報の入手先」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

男女別

- ・ 男性と女性の間で約5ポイント以上の差があるものは「広報よこすか」「インターネット(パソコンでの利用)」であり、「広報よこすか」は女性の回答が男性の回答よりも多く、「インターネット(パソコンでの利用)」は男性の回答が女性の回答よりも多くなっている。
- ・ 他の媒体については、男女間で大きな差はみられない。

(表 21-1 生活に役立つ情報の入手先 男女別)

	回答数	テレビ	新聞 チラシ	広報よこすか	インターネット (パソコンでの利用)	広報よこすか お知らせ版	ラジオ	ポスター 看板 掲示板	雑誌	インターネット (携帯電話での利用)	本	ダイレクトメール	メールマガジン	横須賀市 コールセンター	その他
単純集計	2,141	79.6%	66.3%	42.9%	32.5%	14.4%	12.3%	11.5%	9.2%	7.1%	4.3%	2.2%	0.7%	0.5%	1.4%
男性	896	78.7%	66.0%	38.4%	36.4%	13.5%	14.3%	11.8%	8.8%	7.1%	4.9%	1.3%	0.3%	0.7%	1.3%
女性	1,235	80.3%	66.6%	46.1%	29.9%	15.1%	10.9%	11.3%	9.6%	7.0%	3.9%	2.8%	1.1%	0.4%	1.4%
不明	10	80.0%	60.0%	60.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%

網掛けは、男女間で約5ポイント以上の差がみられる項目(「その他」および「不明」は除く)



年齢

- ・年齢層による差が顕著に出ているものは「広報よこすか」「インターネット(パソコンでの利用)」「広報よこすかお知らせ版」「雑誌」「インターネット(携帯電話での利用)」である。
- ・「インターネット(パソコンでの利用)」についてみると、50歳未満までの各世代は4割以上が利用している。さらに、35歳未満の世代では「インターネット(携帯電話での利用)」も2割弱～4割弱となっている。
- ・「雑誌」についても同様に、30歳未満での利用状況は高く、50歳未満までは1割強～2割強となっているが、それ以上の世代との間で大きな差が生じている。
- ・一方、「広報よこすか」「広報よこすかお知らせ版」については、若年世代での回答率が低く、30歳未満では「広報よこすか」が2割以下となっている。

(表 21-2 生活に役立つ情報の入手先 年齢別)

	回答数	テレビ	新聞 チラシ	広報よこすか	インターネット (パソコンでの利用)	広報よこすかお知らせ版	ラジオ	ポスター 看板 掲示板	雑誌	インターネット (携帯電話での利用)	本	ダイレクトメール	メールマガジン	横須賀市コールセンター	その他
単純集計	2,141	79.6%	66.3%	42.9%	32.5%	14.4%	12.3%	11.5%	9.2%	7.1%	4.3%	2.2%	0.7%	0.5%	1.4%
15～19歳	96	87.5%	44.8%	11.5%	41.7%	1.0%	5.2%	14.6%	21.9%	36.5%	7.3%	2.1%	3.1%	0.0%	2.1%
20～24歳	82	78.0%	52.4%	12.2%	59.8%	7.3%	7.3%	15.9%	18.3%	28.0%	6.1%	0.0%	2.4%	0.0%	1.2%
25～29歳	104	75.0%	36.5%	16.3%	64.4%	5.8%	9.6%	10.6%	19.2%	24.0%	8.7%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%
30～34歳	136	71.3%	46.3%	28.7%	55.1%	9.6%	13.2%	8.8%	14.0%	18.4%	5.1%	4.4%	0.7%	0.7%	2.2%
35～39歳	156	76.9%	48.7%	36.5%	48.7%	7.7%	11.5%	11.5%	12.2%	9.6%	4.5%	3.2%	0.6%	1.3%	3.2%
40～44歳	153	76.5%	67.3%	39.2%	46.4%	6.5%	10.5%	11.1%	11.8%	5.2%	5.2%	1.3%	1.3%	0.7%	0.7%
45～49歳	156	91.7%	67.9%	35.9%	45.5%	6.4%	10.3%	7.1%	13.5%	1.9%	4.5%	1.3%	1.9%	0.0%	1.9%
50～54歳	163	80.4%	73.6%	38.7%	38.0%	12.9%	8.6%	11.7%	8.6%	4.9%	4.3%	1.8%	0.6%	0.0%	0.6%
55～59歳	229	79.5%	80.8%	46.7%	30.1%	12.2%	15.3%	10.5%	8.7%	0.0%	5.7%	2.6%	0.4%	0.0%	0.9%
60～64歳	247	79.4%	70.0%	54.3%	21.5%	19.0%	14.2%	15.8%	4.9%	1.6%	1.6%	2.4%	0.4%	0.4%	0.0%
65～69歳	202	78.7%	77.7%	58.4%	13.9%	23.8%	13.4%	12.9%	3.5%	0.5%	4.0%	2.5%	0.5%	1.0%	2.0%
70～74歳	238	80.3%	73.5%	59.2%	10.1%	26.1%	15.5%	13.4%	2.5%	0.8%	2.9%	1.7%	0.0%	0.4%	2.1%
75歳以上	164	81.1%	76.8%	60.4%	6.1%	25.0%	15.2%	6.1%	3.7%	0.6%	2.4%	2.4%	0.0%	1.8%	0.0%
不明	15	66.7%	73.3%	46.7%	6.7%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%

網掛けは、本文中に記載している項目(年齢層により大きな差異が生じている項目)について、単純集計と比べて10ポイント以上多いもの(「インターネット(パソコンでの利用)」「雑誌」「インターネット(携帯電話での利用)」)もしくは10ポイント以上低いもの(「広報よこすか」「広報よこすかお知らせ版」)。(「その他」および「不明」は除く)

## 2 2 . 米軍基地に対する意見 (問 2 2 )

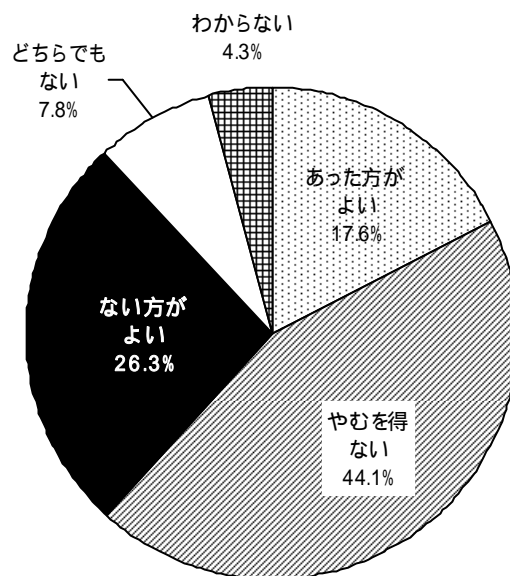
【米軍基地について】横須賀市内にある米軍基地について、どのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

米軍基地について、あった方がよいとする市民は2割弱である。基地があるのはやむを得ないとする市民が4割強であり、合わせて約6割の市民が基地の存在を容認している。

- ・ 「あった方がよい」(17.6%)、「やむを得ない」(44.1%)を合わせ、61.7%が米軍基地の存在を容認している。
- ・ しかし、「ない方がよい」とする回答も26.3%みられ、「あった方がよい」とする回答を上回っている。

(図 22-1 米軍基地に対する意見)

(回答数 2,114 人)



「米軍基地に対する意見」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

#### 男女別

- ・ 男性では、「あった方がよい」「ない方がよい」とする回答が共に多くなっているが、女性では「どちらでもない」「わからない」とする回答が多くなっている。
- ・ 「やむを得ない」は、男女ほぼ同じである。

(表 22-1 米軍基地に対する意見 男女別)

	回答数	あった方がよい	やむを得ない	ない方がよい	どちらでもない	わからない
単純集計	2,114	17.6%	44.1%	26.3%	7.8%	4.3%
男性	886	21.3%	44.1%	27.2%	4.7%	2.6%
女性	1,219	14.8%	44.0%	25.7%	10.0%	5.5%
不明	9	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%

網掛けは、男女を比べて多い項目（「その他」および「不明」は除く）

#### 年齢

- ・ 回答者全体よりも 10 ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「あった方がよい」における 20 歳～24 歳、「やむを得ない」における 70 歳～74 歳である。

(表 22-2 米軍基地に対する意見 年齢別)

	回答数	あった方がよい	やむを得ない	ない方がよい	どちらでもない	わからない
単純集計	2,114	17.6%	44.1%	26.3%	7.8%	4.3%
15～19歳	95	16.8%	38.9%	20.0%	14.7%	9.5%
20～24歳	83	31.3%	22.9%	26.5%	12.0%	7.2%
25～29歳	104	23.1%	32.7%	21.2%	15.4%	7.7%
30～34歳	137	16.8%	35.8%	27.7%	13.9%	5.8%
35～39歳	155	13.5%	39.4%	32.9%	11.6%	2.6%
40～44歳	152	17.1%	46.7%	21.1%	9.2%	5.9%
45～49歳	155	18.7%	36.1%	31.0%	9.0%	5.2%
50～54歳	160	15.0%	46.3%	31.3%	5.6%	1.9%
55～59歳	224	13.8%	44.6%	30.8%	6.7%	4.0%
60～64歳	243	14.0%	45.7%	32.1%	4.1%	4.1%
65～69歳	201	14.9%	49.8%	27.9%	5.5%	2.0%
70～74歳	233	18.5%	57.1%	16.7%	5.6%	2.1%
75歳以上	158	25.9%	50.6%	18.4%	0.6%	4.4%
不明	14	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%

網掛けは、単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「その他」および「不明」は除く）

(1) 米軍基地があった方がよい理由 (問 2 2 - 1 )

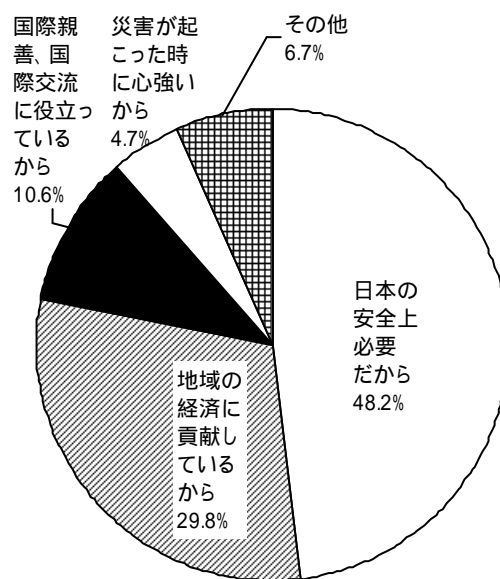
問 22 で を選んだ方に伺います。 を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

あった方がよいとする回答者のうち5割弱が、日本の安全上必要であることを理由として挙げている。

- ・ 問 22 で「あった方がよい」を選んだ理由として「日本の安全上必要だから」が最も多く、48.2%を占めている。
- ・ これに次いで、「地域の経済に貢献しているから」(29.8%)「国際親善、国際交流に役立っているから」(10.6%)が多く挙げられている。

(図 22-2 あった方がよい理由)

(回答数 359 人)



(2) 米軍基地がない方がよい理由（問22-2）

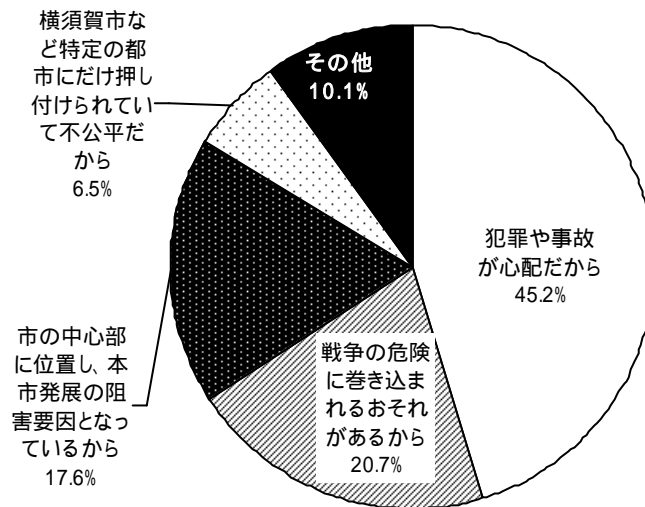
問22で「ない方がよい」を選んだ方に伺います。を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

ない方がよいとする回答者のうち5割弱が、犯罪や事故が心配であることを理由として挙げている。

- ・ 問22で「ない方がよい」を選んだ回答者のうち、その理由として「犯罪や事故が心配だから」が最も多く、45.2%を占めている。
- ・ これに次いで、「戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから」(20.7%)、「市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから」(17.6%)が多く挙げられている。

(図 22-3 ない方がよい理由)

(回答数 527 人)



### 23. 自衛隊基地に対する意見（問23）

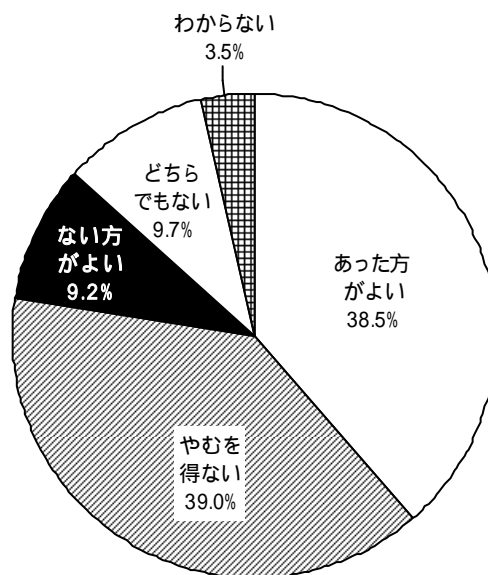
【自衛隊基地について】横須賀市内にある自衛隊基地について、どのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

あった方がよい、やむを得ないがともに4割弱であり、合わせて8割弱の回答者が基地の存在を容認している。

- ・「あった方がよい」(38.5%)、「やむを得ない」(39.0%)を合わせ、77.5%の人が自衛隊基地の存在を容認している。
- ・「ない方がよい」とする回答は9.2%で、「あった方がよい」とする回答を大幅に下回っている。

(図 23-1 自衛隊基地に対する意見)

(回答数 2,065 人)



「自衛隊基地に対する意見」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

#### 男女別

- ・ 男性では、「あった方がよい」とする回答が多く、女性では「どちらでもない」「わからない」が多くなっている。
- ・ 「やむを得ない」「ない方がよい」とする回答は、男性の方がやや多くなっている。

(表 23-1 自衛隊基地に対する意見 男女別)

	回答数	あった方がよい	やむを得ない	ない方がよい	どちらでもない	わからない
単純集計	2,065	38.5%	39.0%	9.2%	9.7%	3.5%
男性	872	41.2%	39.4%	9.6%	8.1%	1.6%
女性	1,183	36.3%	38.8%	9.0%	11.0%	4.9%
不明	10	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%

網掛けは、男女を比べて多い項目（「その他」および「不明」は除く）

#### 年齢

- ・ 回答者全体の平均よりも 10 ポイント以上多い属性別回答がみられる項目は、「あった方がよい」における 75 歳以上、「どちらでもない」における 15 歳～29 歳である。

(表 23-2 自衛隊基地に対する意見 年齢別)

	回答数	あった方がよい	やむを得ない	ない方がよい	どちらでもない	わからない
単純集計	2,065	38.5%	39.0%	9.2%	9.7%	3.5%
15～19 歳	93	30.1%	36.6%	6.5%	20.4%	6.5%
20～24 歳	80	37.5%	28.8%	5.0%	20.0%	8.8%
25～29 歳	104	30.8%	29.8%	8.7%	25.0%	5.8%
30～34 歳	135	35.6%	34.1%	7.4%	16.3%	6.7%
35～39 歳	153	32.0%	39.2%	15.7%	11.1%	2.0%
40～44 歳	153	38.6%	40.5%	7.8%	9.8%	3.3%
45～49 歳	151	36.4%	45.7%	4.6%	9.3%	4.0%
50～54 歳	159	27.0%	48.4%	13.8%	7.5%	3.1%
55～59 歳	220	32.7%	45.5%	8.6%	10.0%	3.2%
60～64 歳	238	42.4%	35.3%	12.6%	5.9%	3.8%
65～69 歳	192	40.6%	43.2%	10.9%	4.2%	1.0%
70～74 歳	218	48.2%	34.9%	7.8%	6.9%	2.3%
75 歳以上	155	56.8%	35.5%	5.8%	0.6%	1.3%
不明	14	57.1%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%

網掛けは、単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「その他」および「不明」は除く）

(1) 自衛隊基地があった方がよい理由（問23 - 1）

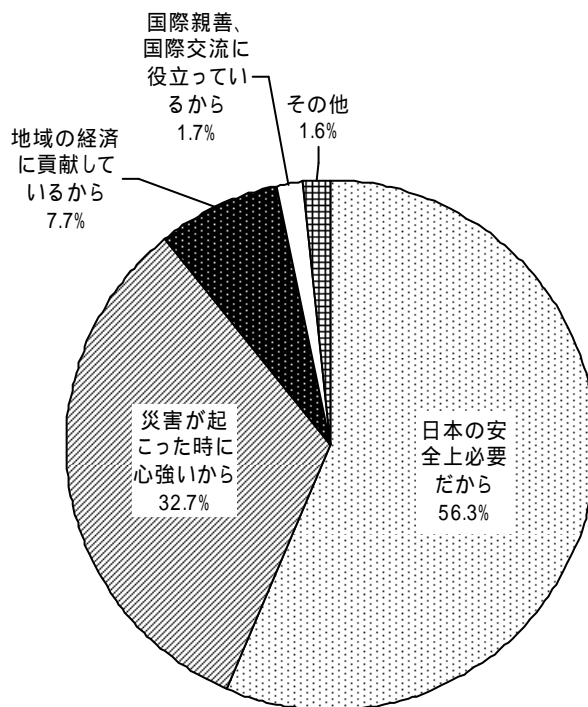
問23で「あった方がよい」を選んだ方に伺います。を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

あった方がよいとする回答者の5割強が、日本の安全上必要であることを理由として挙げている。

- ・ 問23で「あった方がよい」を選んだ理由として「日本の安全上必要だから」が最も多く、56.3%を占めている。また、「災害が起こった時に心強いから」も32.7%と比較的多くなっている。
- ・ 上記以外は、いずれも低い回答率となっている。

(図23-2 あった方がよい理由)

(回答数 767人)





(2) 自衛隊基地がない方がよい理由（問23 - 2）

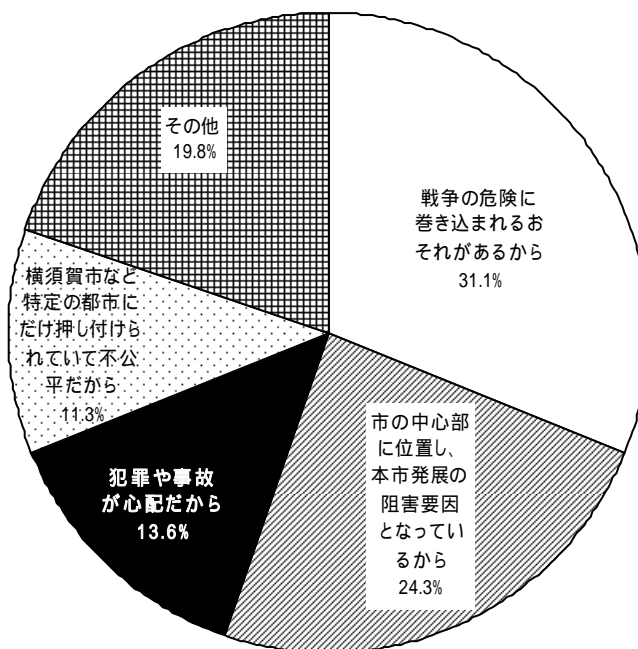
問23で「ない方がよい」を選んだ方に伺います。「ない方がよい」を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

ない方がよいとする回答者の3割強が、戦争の危険に巻き込まれるおそれがあることを、2割強が、本市発展の阻害要因となることを理由として挙げている。

- ・ 問23で「ない方がよい」を選んだ回答者のうち、その理由として「戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから」が最も多く、31.1%を占めている。
- ・ これに次いで、「市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから」(24.3%)、「犯罪や事故が心配だから」(13.6%)などが多く挙げられている。

(図23-3 ない方がよい理由)

(回答数177人)



## 2 4 . 政策の優先度 (問 2 4 )

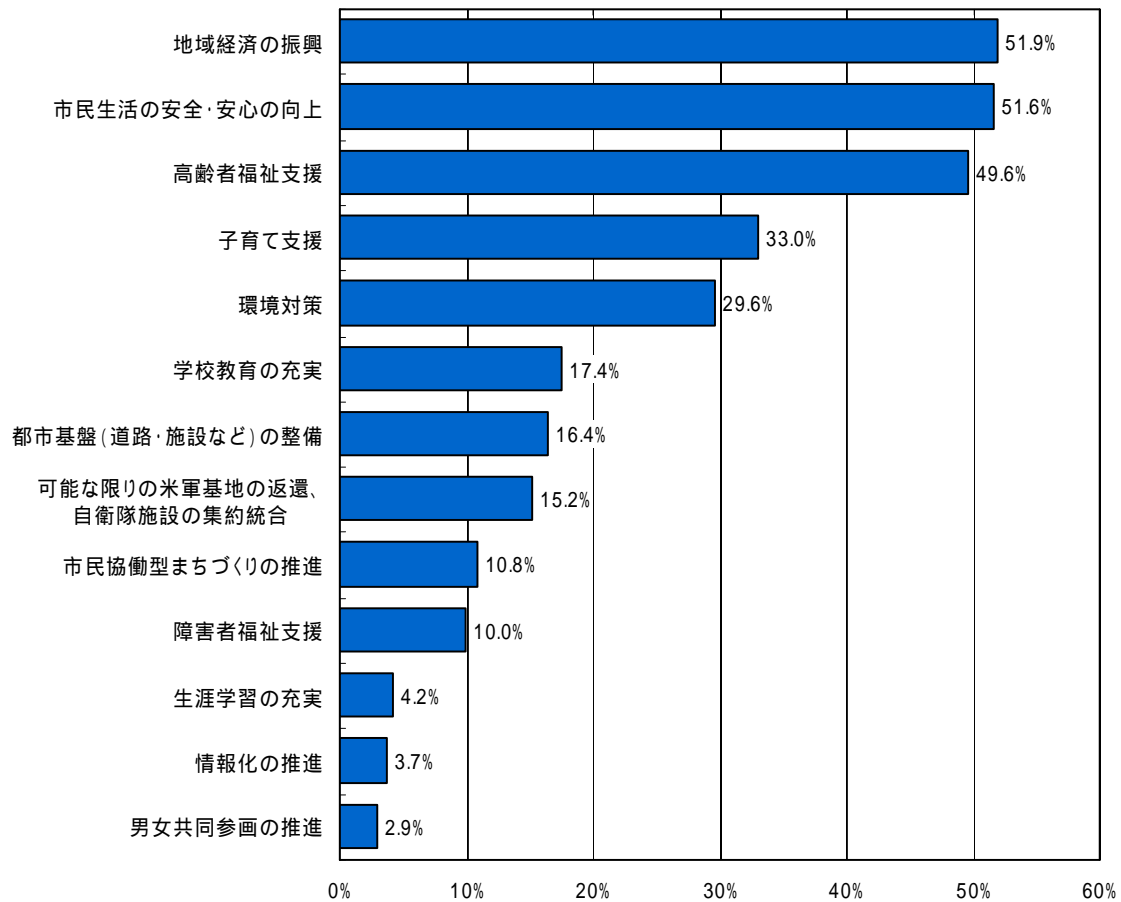
【政策の優先度】10年後、20年後の将来、横須賀市が元気で夢のもてる都市であるためには、限りある財源や人材の中で、今後どのような政策に積極的に取り組むべきだと思いますか。次の中から重要と思われる順に3つ選んでください。

1) 優先すべき政策として上位3つに挙げられた政策を順位に関係なく回答した人の割合を示したものが図 24-1 である。

- ・「地域経済の振興」(51.9%)、「市民生活の安全・安心の向上」(51.6%) は半数以上の人が選択している。これらに「高齢者福祉支援」(49.6%) が僅差で続き、次いで「子育て支援」(33.0%)、「環境対策」(29.6%) などが多く挙げられている。

(図 24-1 政策の優先度)

(回答数 2,115 人)



「政策の優先度」について、属性別にみると、次のような傾向がみられる。

男女別

- ・「子育て支援」については、女性の回答が男性の回答を5ポイント以上上回っている。

(表 24-1 政策の優先度 男女別)

	回答数	地域経済の振興	市民生活の安全・安心の向上	高齢者福祉支援	子育て支援	環境対策	学校教育の充実	都市基盤（道路・施設など）の整備	地元の返還、自衛隊施設等の集約統合	可能な限りのまちづくりの推進	市民協働型	障害者福祉支援	生涯学習の充実	情報化の推進	男女共同参画の推進
単純集計	2,115	51.9%	51.6%	49.6%	33.0%	29.6%	17.4%	16.4%	15.2%	10.8%	10.0%	4.2%	3.7%	2.9%	
男性	881	54.7%	49.4%	47.7%	28.9%	28.1%	15.1%	19.0%	17.4%	11.4%	11.1%	4.8%	6.0%	2.3%	
女性	1,226	49.8%	53.3%	51.0%	36.0%	30.4%	19.2%	14.6%	13.5%	10.4%	9.1%	3.8%	2.0%	3.3%	
不明	8	50.0%	37.5%	50.0%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	

網掛けは、男女の差が5ポイント以上の差がある項目（「不明」は除く）

年齢

- ・ 回答者全体で最も回答率の高かった「地域経済の振興」については、30代までは平均を下回るものの、40代以降平均を上回る傾向にあり、40歳を境に差が見られる。
- ・ 回答者全体の平均で2番目に回答率が高かった「市民生活の安全・安心の向上」も同様の傾向があるものの、年齢による格差は、「地域経済の振興」ほど大きくない。
- ・ また、「高齢者福祉支援」についても、高齢層において特に回答率が高く、65～69歳(60.8%)、75歳以上(62.4%)で大きく回答者全体を上回っている。
- ・ 「子育て支援」では幼児の親の世代にあたる20代、30代での回答率が高く、なかでも30～34歳の年齢層は67.6%と平均の2倍を上回る特に強い支持を得ている。
- ・ この他では、「環境対策」が20～24歳(43.9%)で高い支持を得ているほか、「学校教育の充実」については教育を受けている15～19歳(34.7%)の他、これらの親の世代に該当する30代後半から40代前半において支持の高い政策となっている。

(表 24-2 政策の優先度 年齢別)

	回答数	地域経済の振興	市民生活の安全・安心の向上	高齢者福祉支援	子育て支援	環境対策	学校教育の充実	都市基盤(道路施設などの整備)	地元の集約・再開発、自衛隊基地の返還	市民協働型まちづくりの推進	障害者福祉支援	生涯学習の充実	情報化の推進	男女共同参画の推進
単純集計	2,115	51.9%	51.6%	49.6%	33.0%	29.6%	17.4%	16.4%	15.2%	10.8%	10.0%	4.2%	3.7%	2.9%
15～19歳	95	32.6%	46.3%	35.8%	43.2%	35.8%	34.7%	13.7%	6.3%	12.6%	12.6%	4.2%	11.6%	6.3%
20～24歳	82	34.1%	42.7%	41.5%	46.3%	43.9%	13.4%	23.2%	4.9%	7.3%	12.2%	9.8%	6.1%	9.8%
25～29歳	103	49.5%	48.5%	40.8%	50.5%	35.0%	18.4%	21.4%	11.7%	7.8%	2.9%	3.9%	7.8%	1.9%
30～34歳	136	43.4%	38.2%	42.6%	67.6%	28.7%	17.6%	19.1%	7.4%	8.1%	10.3%	5.1%	5.1%	2.9%
35～39歳	156	44.2%	47.4%	39.1%	50.6%	28.8%	29.5%	19.9%	10.3%	12.2%	9.0%	4.5%	1.9%	0.6%
40～44歳	151	54.3%	51.7%	50.3%	37.7%	31.8%	24.5%	17.2%	9.3%	5.3%	11.3%	2.0%	0.7%	2.6%
45～49歳	155	56.1%	58.1%	50.3%	27.1%	38.7%	16.8%	16.8%	12.9%	7.7%	8.4%	3.9%	1.3%	0.6%
50～54歳	164	54.3%	52.4%	43.3%	28.7%	32.9%	17.1%	20.1%	19.5%	11.6%	9.8%	2.4%	2.4%	2.4%
55～59歳	228	59.6%	47.4%	45.2%	25.0%	34.6%	14.0%	15.8%	19.7%	17.5%	7.9%	3.9%	3.9%	3.1%
60～64歳	245	53.5%	58.4%	55.5%	23.7%	27.3%	11.4%	14.3%	20.8%	12.2%	10.2%	4.5%	2.4%	1.2%
65～69歳	199	53.8%	55.8%	60.8%	26.1%	22.1%	14.1%	10.1%	17.6%	12.6%	10.6%	5.0%	4.0%	3.0%
70～74歳	231	53.2%	56.7%	55.4%	23.8%	22.1%	16.0%	16.5%	17.7%	9.5%	11.7%	4.8%	3.5%	3.0%
75歳以上	157	61.8%	52.9%	62.4%	15.9%	20.4%	10.2%	12.7%	21.7%	10.2%	10.8%	2.5%	3.8%	4.5%
不明	13	53.8%	53.8%	69.2%	30.8%	0.0%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	15.4%

網掛けは、単純集計結果に比べて10ポイント以上多い項目(「不明」は除く)

## 居住地域

- ・ 回答者全体で最も多い「地域経済の振興」については、久里浜地域で 58.7%と多い一方、田浦地域で 45.6%と他の地域に比べ少なくなっている。
- ・ 「市民生活の安全・安心の向上」については逸見地域で 62.7%と特に多いほか、本庁地域（57.7%）で多くなっている。一方、大津地域で 45.9%と他の地域と比べて少なくなっている。
- ・ 「高齢者福祉支援」については、追浜地域、田浦地域で 55%前後と高い一方、逸見地域、北下浦地域で 45%未満と他の地域に比べ少なくなっている。
- ・ また、「子育て支援」については、北下浦地域で 37.6%と多いが、地域による格差はそれほど大きくない。「環境対策」については逸見地域で 40.7%と特に多いほか、「学校教育の充実」については、逸見地域で 11.9%と少なくなっている。

(表 24-3 政策の優先度 地域別)

	回答数	地域経済の振興	市民生活の安全・安心の向上	高齢者福祉支援	子育て支援	環境対策	学校教育の充実	都市基盤（道路・施設など）の整備	地元の返還、自衛隊施設等の集約統合	可能な限りのまちづくりの推進	市民協働型	障害者福祉支援	生涯学習の充実	情報化の推進	男女共同参画の推進
単純集計	2,115	51.9%	51.6%	49.6%	33.0%	29.6%	17.4%	16.4%	15.2%	10.8%	10.0%	4.2%	3.7%	2.9%	
本庁地域	293	50.2%	57.7%	52.2%	33.1%	26.6%	18.4%	14.0%	17.7%	9.6%	8.9%	3.8%	2.4%	2.7%	
追浜地域	153	53.6%	49.0%	55.6%	30.7%	28.8%	17.0%	11.1%	15.0%	9.8%	13.7%	3.9%	6.5%	3.3%	
田浦地域	103	45.6%	51.5%	54.4%	34.0%	29.1%	22.3%	23.3%	10.7%	6.8%	11.7%	5.8%	1.9%	1.9%	
逸見地域	59	49.2%	62.7%	44.1%	30.5%	40.7%	11.9%	23.7%	10.2%	16.9%	5.1%	1.7%	0.0%	0.0%	
衣笠地域	322	52.8%	52.8%	49.7%	34.2%	27.3%	16.1%	14.6%	14.6%	11.8%	9.3%	4.0%	5.0%	3.4%	
大津地域	255	49.4%	45.9%	48.6%	36.1%	33.7%	16.1%	18.0%	18.8%	10.6%	9.8%	4.3%	3.5%	2.4%	
浦賀地域	255	49.0%	52.2%	50.2%	32.2%	31.8%	20.4%	15.7%	15.3%	10.2%	9.0%	4.7%	4.3%	2.7%	
久里浜地域	281	58.7%	49.5%	47.7%	28.8%	29.2%	16.0%	14.6%	14.2%	12.1%	11.0%	5.3%	3.2%	4.3%	
北下浦地域	170	51.8%	50.6%	44.7%	37.6%	27.6%	21.8%	12.9%	13.5%	11.8%	11.8%	3.5%	4.7%	1.2%	
西地域	206	53.4%	49.0%	46.6%	32.5%	29.1%	15.5%	24.3%	15.5%	11.2%	8.3%	3.4%	2.4%	2.9%	
不明	18	44.4%	66.7%	61.1%	33.3%	27.8%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%	16.7%	

網掛けは、単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「不明」は除く）

## 職業

- ・ 回答者全体で最も多かった「地域経済の振興」については、学生で 35.2%と少なくなっている。「市民生活の安全・安心の向上」「高齢者福祉支援」では、家事専業・無職でそれぞれ 56.6%、55.0%と多い一方、「子育て支援」については他の職業に比べ少なくなっている。
- ・ また、「環境対策」「学校教育の充実」では、学生でそれぞれ 40.2%、31.1%と多くなっている。

(表 24-4 政策の優先度 職業別)

	回答数	地域経済の振興	市民生活の安全・安心の向上	高齢者福祉支援	子育て支援	環境対策	学校教育の充実	都市基盤（道路・施設など）の整備	可能な限りの米軍基地の返還・自衛隊施設の集約統合	市民協働型まちづくりの推進	障害者福祉支援	生涯学習の充実	情報化の推進	男女共同参画の推進
単純集計	2,115	51.9%	51.6%	49.6%	33.0%	29.6%	17.4%	16.4%	15.2%	10.8%	10.0%	4.2%	3.7%	2.9%
自営等	131	55.7%	48.1%	47.3%	35.1%	31.3%	16.8%	15.3%	13.0%	14.5%	13.0%	1.5%	3.1%	1.5%
会社員・公務員	584	51.7%	46.4%	44.3%	38.5%	33.6%	15.2%	20.9%	14.9%	12.7%	8.7%	4.5%	4.8%	2.1%
家事専業・無職	894	52.5%	56.6%	55.0%	26.7%	26.7%	16.3%	13.6%	17.9%	9.1%	10.5%	3.8%	2.8%	2.5%
アルバイト等	305	54.4%	55.1%	51.5%	37.0%	27.2%	19.3%	16.4%	9.5%	10.5%	7.9%	4.6%	2.3%	2.6%
学生	122	35.2%	40.2%	36.1%	40.2%	40.2%	31.1%	15.6%	8.2%	11.5%	10.7%	7.4%	10.7%	9.0%
その他	68	54.4%	45.6%	41.2%	33.8%	22.1%	20.6%	17.6%	25.0%	10.3%	14.7%	2.9%	1.5%	7.4%
不明	11	63.6%	36.4%	63.6%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%

網掛けは、単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「不明」は除く）

## 世帯の状況

- ・ 0歳～14歳の子どもがいる世帯では、「子育て支援」「学校教育の充実」といった自らの子どもにかかる政策について特に回答が多かった。

(表 24-5 政策の優先度 世帯の状況別)

	回答数	地域経済の振興	市民生活の安全・安心の向上	高齢者福祉支援	子育て支援	環境対策	学校教育の充実	都市基盤（道路・施設など）の整備	可能な限りの米軍基地の返還・自衛隊施設の集約統合	市民協働型まちづくりの推進	障害者福祉支援	生涯学習の充実	情報化の推進	男女共同参画の推進
単純集計	2,115	51.9%	51.6%	49.6%	33.0%	29.6%	17.4%	16.4%	15.2%	10.8%	10.0%	4.2%	3.7%	2.9%
0歳～14歳の子どもがいる	402	42.0%	51.0%	42.8%	54.5%	26.6%	28.9%	15.4%	8.0%	10.9%	10.0%	2.5%	2.7%	0.5%
65歳以上の高齢者がいる	837	56.3%	53.8%	51.9%	27.6%	27.5%	14.9%	14.3%	15.8%	11.8%	11.0%	4.1%	3.6%	3.2%
単身世帯	142	48.6%	53.5%	50.0%	32.4%	26.8%	18.3%	14.1%	19.7%	8.5%	9.9%	4.2%	7.0%	4.2%
無回答	831	52.9%	49.6%	49.6%	29.1%	33.2%	15.6%	18.7%	16.1%	10.6%	9.1%	4.7%	4.0%	3.4%

網掛けは、単純集計結果に比べて 10 ポイント以上多い項目（「無回答」は除く）

横須賀市に住んでいる年数

- ・ 回答者全体と比較して、最近横須賀に転入したと思われる1年未満の層では「子育て支援」「都市基盤（道路・施設など）の整備」に対する回答が多くなっている。
- ・ 「子育て支援」は、1～3年の層においても61.7%と特に多いほか、10～14年の層でも多くなっている。
- ・ 「学校教育の充実」については、1～3年の層で30.0%と多くなっている。

(表 24-6 政策の優先度 横須賀市に住んでいる年数別)

	回答数	地域経済の振興	市民生活の安全安心の向上	高齢者福祉支援	子育て支援	環境対策	学校教育の充実	都市基盤（道路・施設など）の整備	地元の返還、自衛隊施設の集約統合	可能な限りのまちづくりの推進	市民協働型	障害者福祉支援	生涯学習の充実	情報化の推進	男女共同参画の推進
単純集計	2,115	51.9%	51.6%	49.6%	33.0%	29.6%	17.4%	16.4%	15.2%	10.8%	10.0%	4.2%	3.7%	2.9%	
1年未満	32	31.3%	53.1%	34.4%	59.4%	15.6%	25.0%	31.3%	12.5%	3.1%	18.8%	3.1%	6.3%	3.1%	
1～3年	60	45.0%	36.7%	41.7%	61.7%	25.0%	30.0%	18.3%	10.0%	10.0%	8.3%	5.0%	5.0%	3.3%	
4～9年	149	46.3%	47.7%	38.3%	37.6%	29.5%	20.1%	22.8%	12.1%	16.1%	10.7%	6.0%	4.7%	7.4%	
10～14年	136	47.8%	44.1%	52.9%	43.4%	28.7%	20.6%	19.9%	11.0%	8.8%	8.8%	4.4%	1.5%	1.5%	
15～19年	164	43.3%	48.8%	36.0%	34.1%	37.2%	25.6%	22.6%	11.6%	13.4%	6.7%	7.3%	7.3%	2.4%	
20～24年	186	52.7%	50.0%	48.4%	27.4%	34.9%	23.7%	10.8%	12.4%	11.3%	11.8%	5.9%	4.8%	2.7%	
25年以上	1,370	54.7%	54.0%	52.7%	30.2%	28.5%	14.2%	15.0%	17.2%	10.3%	9.9%	3.4%	3.1%	2.6%	
不明	18	44.4%	50.0%	72.2%	38.9%	27.8%	22.2%	11.1%	5.6%	5.6%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	

網掛けは、単純集計結果に比べて10ポイント以上多い項目（「不明」は除く）

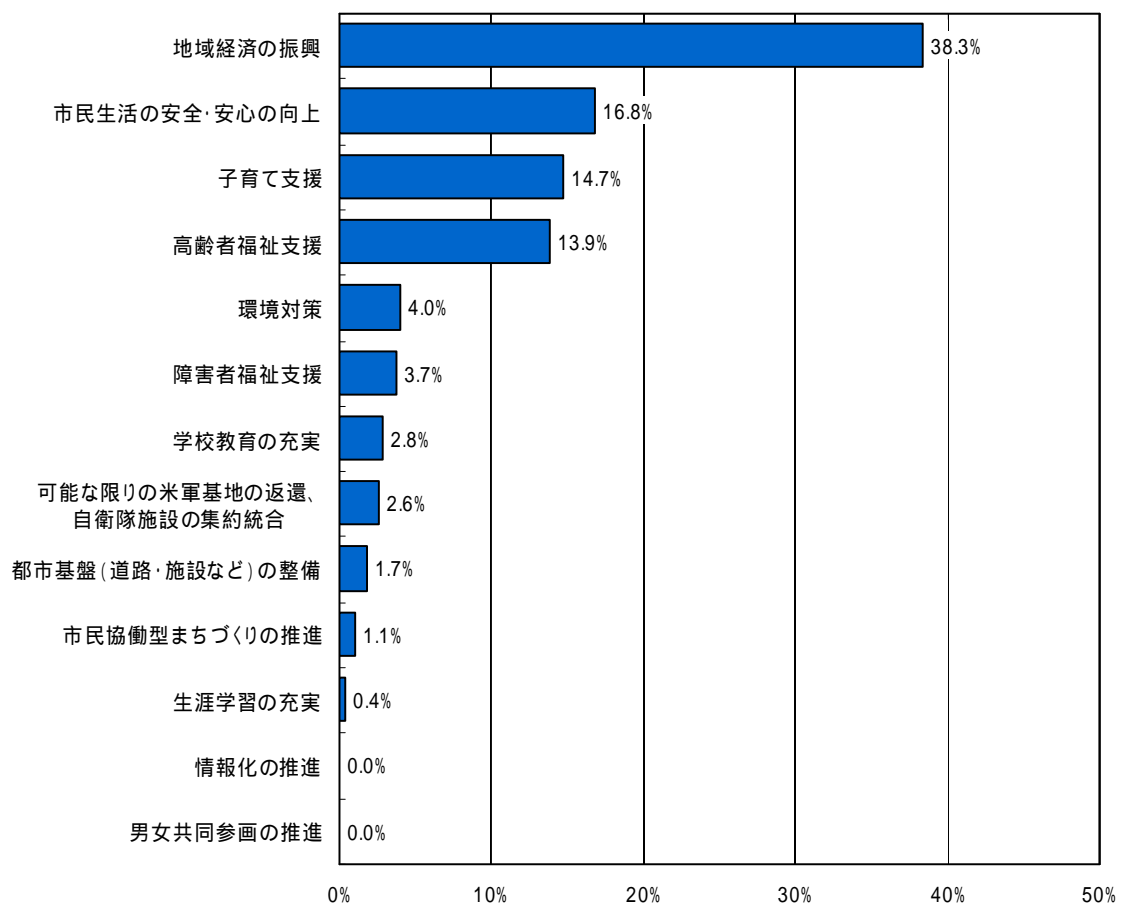
2)優先すべき政策の1位、2位、3位の順位による回答率を示したものが図24-2～図24-4である。

最も優先すべきと思われる政策

- ・優先すべき政策として最上位に選択された政策は、「地域経済の振興」(38.3%)が最も多く、これに次いで「市民生活の安全・安心の向上」(16.8%)、「子育て支援」(14.7%)、「高齢者福祉支援」(13.9%)が多く挙げられている。

(図24-2 最も優先すべきと思われる政策)

(回答数2,115人)



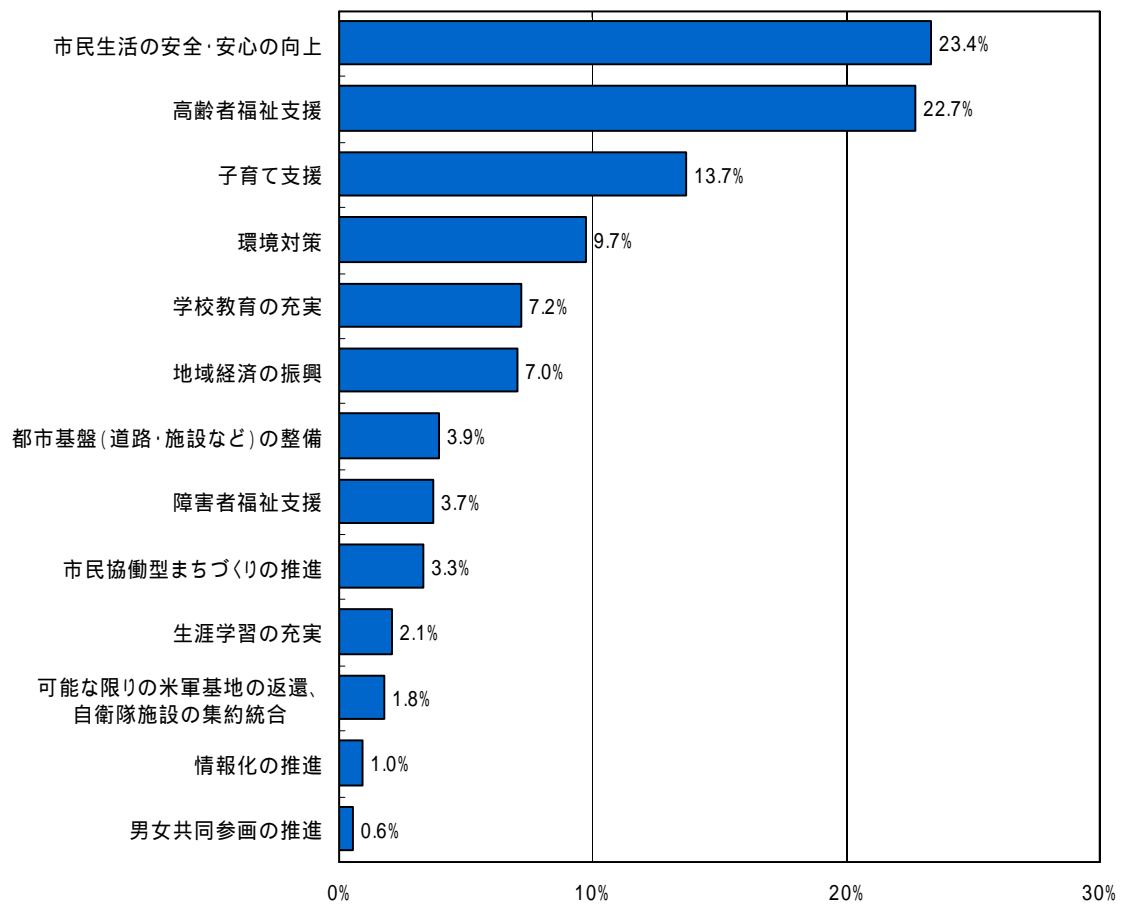


## 2番目に優先すべきと思われる政策

- ・優先すべき政策として2番目に選択された政策は「市民生活の安全・安心の向上」(23.4%)、「高齢者福祉支援」(22.7%)、「子育て支援」(13.7%)などが多く挙げられている。

(図 24-3 2番目に優先すべきと思われる政策)

(回答数 2,094 人)

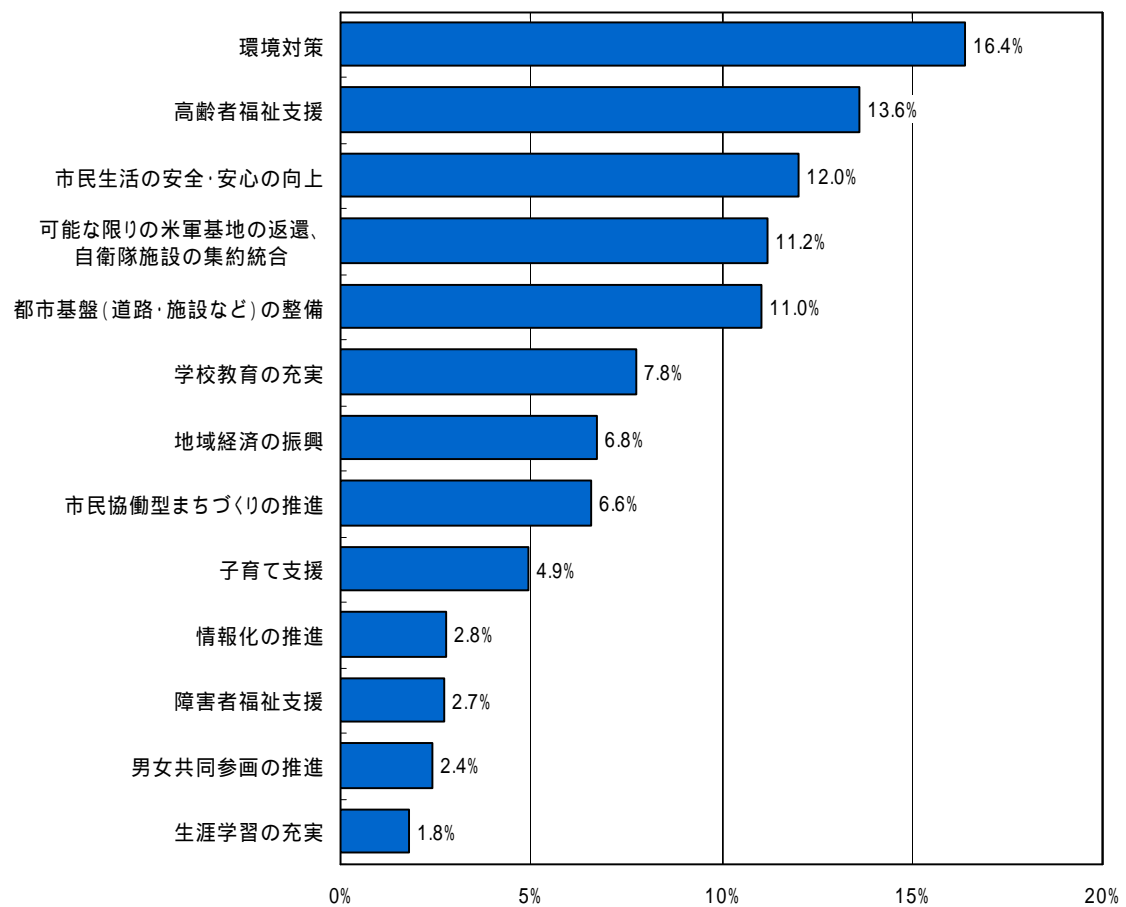


### 3番目に優先すべきと思われる政策

- ・優先すべき政策として3番目に選択された政策は、「環境対策」(16.4%)、「高齢者福祉支援」(13.6%)、「市民生活の安全・安心の向上」(12.0%)、「可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合」(11.2%)などが多く挙げられている。

(図 24-4 3番目に優先すべきと思われる政策)

(回答数 2,056 人)



1～3番目に優先すべきと思われる政策

- ・優先すべき政策として挙げられた政策をみると、「市民生活の安全・安心の向上」「高齢者福祉支援」「環境対策」は1～3番目までいずれでも回答が多くなっており、多くの層で関心が持たれている。
- ・一方、「地域経済の振興」は1番目での回答が多いものの、2番目、3番目ではその回答が少なくなっており、最も重要な政策として捉えている人が多い反面、それ以外の人の関心はあまり高くない可能性がある。
- ・同様に、「子育て支援」は1番目や2番目での回答が多いものの、3番目ではその回答が少なくなっており、最も重要な政策として捉えている人が多い反面、それ以外の人の関心はあまり高くない可能性がある。
- ・また、「学校教育の充実」「都市基盤の整備」「可能な限りの米軍基地の返還・自衛隊施設の集約統合」は、最も重要と考えている人が少ないものの、2番目あるいは、3番目に重要な課題として認識している割合が高い。

(表 24-7 1～3番目に優先すべきと思われる重点課題)

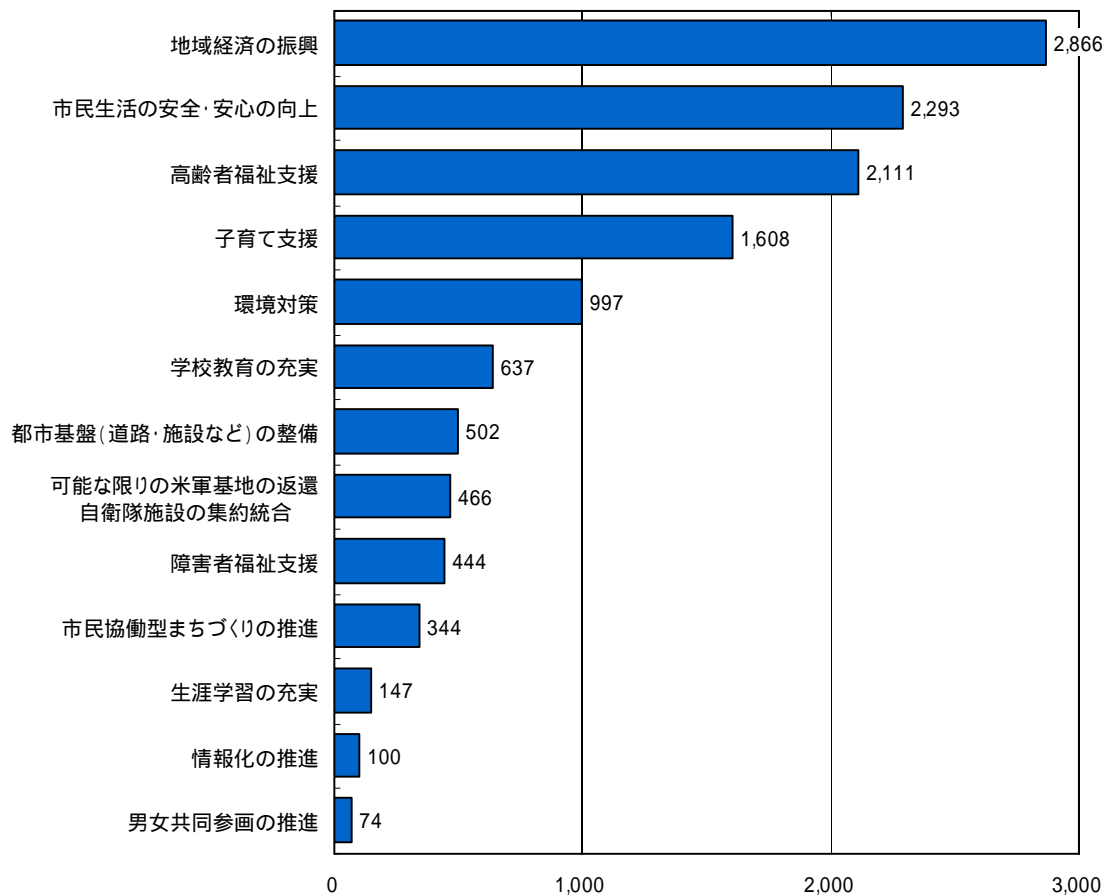
	1～3番目 選択合計	1番目	2番目	3番目
回答数	2,115	2,115	2,094	2,056
地域経済の振興	51.9%	38.3%	7.0%	6.8%
市民生活の安全・安心の向上	51.6%	16.8%	23.4%	12.0%
高齢者福祉支援	49.6%	13.9%	22.7%	13.6%
子育て支援	33.0%	14.7%	13.7%	4.9%
環境対策	29.6%	4.0%	9.7%	16.4%
学校教育の充実	17.4%	2.8%	7.2%	7.8%
都市基盤(道路・施設など)の整備	16.4%	1.7%	3.9%	11.0%
可能な限りの米軍基地の返還、 自衛隊施設の集約統合	15.2%	2.6%	1.8%	11.2%
市民協働型まちづくりの推進	10.8%	1.1%	3.3%	6.6%
障害者福祉支援	10.0%	3.7%	3.7%	2.7%
生涯学習の充実	4.2%	0.4%	2.1%	1.8%
情報化の推進	3.7%	0.0%	1.0%	2.8%
男女共同参画の推進	2.9%	0.0%	0.6%	2.4%

回答数は無回答を除く値で、各列上位5つまで網掛けしている。

- 3) 優先すべき政策として1番目に挙げられたものを「3点」、2番目に挙げられたものを「2点」、3番目に挙げられたものを「1点」と換算し、集計したものが図24-5である。
- ・「地域経済の振興」(2,866点)が最も得点が高く、これに次いで「市民生活の安全・安心の向上」(2,293点)、「高齢者福祉支援」(2,111点)、「子育て支援」(1,608点)などが多く挙げられている。

(図24-5 政策の優先度)

(総点数 12,589点)



## 2.5 . 基本的な属性 ( F 1 ~ F 7 )

### (1) 性別 ( F 1 )

回答数	2,153人
男性	41.8%
女性	58.2%
不明	20人

### (2) 年齢 ( F 2 )

回答数	2,148人
15 ~ 19歳	4.5%
20 ~ 24歳	3.9%
25 ~ 29歳	4.8%
30 ~ 34歳	6.4%
35 ~ 39歳	7.3%
40 ~ 44歳	7.1%
45 ~ 49歳	7.4%
50 ~ 54歳	7.7%
55 ~ 59歳	10.7%
60 ~ 64歳	11.5%
65 ~ 69歳	9.6%
70 ~ 74歳	11.3%
75歳以上	7.8%
不明	25人

### (3) 居住地域 ( F 3 )

回答数	2,142人
本庁地域	14%
追浜地域	7.2%
田浦地域	4.9%
逸見地域	2.8%
衣笠地域	15.4%
大津地域	12%
浦賀地域	12.2%
久里浜地域	13.3%
北下浦地域	8%
西地域	10.1%
不明	31人

## (4) 職業 ( F 4 )

回答数	2,149人
農林漁業	0.2%
自営(商店・工務店・工場等)	3%
自営(サービス業)	2%
会社員・公務員(事務職・専門職・管理職)	15.2%
会社員・公務員(販売/サービス)	7.1%
会社員・公務員(保安・運輸/通信・建設/労務)	5.2%
自由業	1%
家事専業	19.6%
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	14.4%
学生	5.8%
無職	23.3%
その他	3.2%
不明	24人

## (5) 世帯の状況 ( F 5 )

回答数	2,173人
0歳～14歳の子どもがいる	18.8%
65歳以上の高齢者がいる	39.6%
単身世帯	6.8%
無回答	39.4%

本問における「無回答」は選択肢以外の世帯に属すると判断されるため、全数を「回答数」とした。

## (6) 市内居住年数 ( F 6 )

回答数	2,142人
1年未満	1.5%
1～3年	2.8%
4～9年	7%
10～14年	6.4%
15～19年	7.8%
20～24年	8.9%
25年以上	65.5%
不明	31人

(7) 住居形態（F7）

回答数	2,141人
持ち家（一戸建て）	67.7%
持ち家（中高層集合住宅）	13.1%
持ち家（その他）	2.5%
借家（一戸建て）	3.2%
借家（民間のアパート）	4.5%
借家（民間のマンション）	2.8%
借家（UR（旧公団）・公社の借家）	0.7%
借家（公営）	3%
借家（社宅・官舎）	1.7%
借家（間借り）	0.2%
借家（その他の借家）	0.4%
不明	32人





調 査 票

# 基本計画策定のための市民アンケート調査票

## 横須賀の魅力・イメージについて伺います

問1 あなたにとって横須賀の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- 教育や文化の水準が高い
- 子育て支援や高齢者福祉など市の施策が充実している
- 都市基盤が整備され、生活するのに便利である
- 身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
- 公害が少なく安心して暮らせる
- 大都市に近く、通勤・通学に便利である
- 仕事や収入の機会に恵まれている
- 海や緑などの自然環境に恵まれている
- 魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる
- 観光資源や歴史的資産に恵まれている
- 国際色豊かである
- 公衆道徳が行き届き、快適な生活ができる
- 地域での人間関係がとてもよい
- その他（ご自由にお書きください）

問2 横須賀の都市イメージについて伺います。あなたが考える現在の都市イメージ（A欄）および望ましい都市イメージ（B欄）について、次の中からあてはまるものをそれぞれ3つまで選んでください。

- 外国人との交流が盛んな「国際交流都市」
- 横須賀リサーチパーク（YRP）など研究開発拠点が整った「研究開発都市」
- 芸術・文化活動の盛んな「文化都市」
- 米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」
- 防災体制が整った「安全都市」
- 防犯体制が整った「安全都市」
- 海と緑を求めて市外からも人が訪れる「レクリエーション都市」
- 豊かな自然が残されている「オアシス都市」
- 首都圏の「ベッドタウン都市」
- 環境に配慮した「環境都市」
- 道路・上下水道など都市基盤が整った「生活利便都市」
- 市民の健康づくりが充実した「健康都市」
- 高齢者・障害者をはじめ、誰もが安心して暮らせる「福祉都市」
- 子育て環境が整った「福祉都市」
- 学校教育が充実した「教育都市」
- 農業が盛んな「農業都市」
- 漁業が盛んな「漁業都市」
- 自動車産業などを中心とする「工業都市」
- 大規模な商業施設などが整備された「商業都市」
- その他（ご自由にお書きください）

問3 横須賀のシンボルは何だと思いますか。思い浮かべることがら、または具体的なイベントや場所、施設、風景などをご自由にお書きください。

問4 あなたは、横須賀のイメージを色にと考えると何色だと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- 青
- 水色
- 緑
- 灰色
- オレンジ
- 黄緑
- 紫
- 白
- 黄
- 赤
- 黒
- その他（ご自由にお書きください）

## 現在の横須賀市での住み良さについて伺います

問5 あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

住み良い                      まあまあ住み良い                      あまり住み良くない  
住みにくい                      よくわからない

問6 あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

今住んでいるところに住み続けたい                      →                      問6 - 1 へ  
横須賀市内のどこかに住み続けたい                      →  
市外に転居したい                      →                      問6 - 2 へ

問6 - 1 問6で か を選んだ方に伺います。横須賀市に住み続けたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

教育・文化環境が今よりも悪くなる  
子育て環境が今よりも悪くなる  
都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる  
交通の便が今よりも向上しない  
自然環境が今よりも豊かでなくなる  
市内での自分の商売が繁盛しなくなる  
通勤時間が大幅に長くなる場所に転勤（就職・転職）になる  
望ましい持ち家が取得できない  
望ましい借家の供給が減少する  
その他（具体的にお書きください）

問6 - 2 問6で を選んだ方に伺います。市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

教育・文化環境が今よりも良くなる  
子育て環境が今よりも良くなる  
都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる  
交通の便が今よりも良くなる  
自然環境が今よりも豊かになる  
市内での自分の商売が繁盛する  
通勤に便利などところに転勤（就職・転職）になる  
望ましい持ち家が取得しやすくなる  
望ましい借家が今よりも供給される  
その他（具体的にお書きください）

## 横須賀市の将来に向けた政策・施策について伺います

問7【産業政策】横須賀市の産業について伺います。今後、市内の産業をさらに活性化するためには、どのようにしていけばよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

- 成長が期待できる産業（企業）の誘致を優先する
- 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援を優先する
- 中小・零細企業への支援を優先する
- 地域の特性を生かした観光事業を充実し、集客の促進を図り市内産業を活性化する
- 地域の特性を生かした定住促進施策を充実し、人口減少の抑制を図り市内産業を活性化する
- 新規創業をめざす意欲ある人への支援を充実する
- その他（ご自由にお書きください）

問8【商店街の活性化】今後、横須賀市の商店街の活性化にはどのように取り組んでいけばよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

- 空店舗に新たなテナントを積極的に誘致する
- 商店街に市民交流のためのスペースを整備する
- 若者や高齢者など様々な層が参加できるイベントを充実する
- 商店主の新規事業・投資に対する融資を充実する
- 商店街を構成する各店舗自体の魅力を高める
- バスなどの交通手段でのアクセスをよくする
- 車での買い物がしやすくなるように駐車場の整備を促進する
- 街路灯や防犯カメラの設置など安全・安心面を充実する
- その他（ご自由にお書きください）

問9【子育て支援】少子高齢社会への対応として、横須賀市では子育て支援体制の充実に取り組んでいますが、今後どのような施策に特に力を入れるべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

- 延長保育、一時保育、休日保育、夜間保育など、保育園のサービスを拡大する
- 学童クラブなど放課後における小学生の受け入れ施設を充実する
- 病児・病後児の保育施設を整備する
- 障害児の療育相談を充実する
- 子育て支援センター（愛らんどよこすか）のような、子育てサークルの支援や子育て情報の提供などを行う子育て支援拠点を整備する
- ファミリー・サポート・センターなど仕事と子育ての両立支援策を充実する
- 子どもにかかる相談窓口を充実する
- 親子サロンやわいわい広場など子育て中の父母のための情報交換の場を充実する
- 父親の子育て参加を促進する
- その他（ご自由にお書きください）

問 10【高齢者福祉施策】介護保険制度が導入されて8年が経過しましたが、今後横須賀市ではどのような施策に特に力を入れるべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

介護保険によって受けることのできる在宅サービスを多様化する  
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を拡充する  
有料老人ホームや高齢者住宅などを拡充する  
介護予防を充実する  
地域での支え合いの場づくりやボランティアの育成・支援を強化する  
バリアフリー施策を推進する  
その他（ご自由にお書きください）

問 11【安全・安心施策】犯罪のない安全で安心なまちにするために、地域の防犯力を高めることが必要と考えています。そのためにはどのような施策を行えばよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

地域防犯パトロールなど自主防犯活動に対する物品貸与などの支援を行う  
犯罪被害防止のための防犯教室や防犯フォーラムなどを開催する  
街頭防犯カメラや防犯機器の設置経費を補助する  
その他（ご自由にお書きください）

問 12【防災意識】大規模災害が発生した場合に、まず重要となるのは「自助」「共助」の取り組みです。万が一の際に、これらの取り組みをしっかりと行うためには、普段から防災意識を高めておくことが必要と考えていますが、そのために市が行うもので有効なものはどれですか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

市主催の防災訓練の実施	町内会等が行う防災訓練への援助
地域の防災組織が行う防災資機材整備への援助	防災講演会の開催
防災パンフレットの配布	広報よこすかへの防災啓発記事の掲載
その他（具体的にお書きください）	

問 13【学校教育】今、教育の現場では様々な課題がありますが、あなたが学校教育に求めるものは何ですか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

子どもの学力を向上する	少人数学級を実現する	道徳教育を充実する
教師の質を向上する	オープンな教育現場を実現する	家庭との連携を強化する
地域との連携を強化する	不登校やいじめへの対応を強化する	
部活動やクラブ活動などスポーツを充実する		
パソコンなどを活用した情報教育を推進する		
その他（ご自由にお書きください）		

問 14【生涯学習】多様な学習ニーズに対応できる場と機会を充実させるために、横須賀市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

コミュニティセンター（旧公民館）の事業内容を充実する  
市民大学の講座内容を充実する  
生涯学習に関する情報提供機能・各種相談業務を充実する  
生涯学習関連施設の利用機会（曜日、時間など）を拡充する  
地域における生涯学習に関するボランティア養成講座を充実する  
その他（ご自由にお書きください）

問 15【環境政策】今後、横須賀市に特に力を入れてほしい環境政策はどのようなことですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

- 水質汚濁、大気汚染、騒音などの公害対策を進める
- 身近な緑や水辺などの自然環境を保全する
- ごみの減量やリサイクルを進める
- 地球温暖化の原因である二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）などの温室効果ガス排出削減に取り組む
- 環境活動をしている市民団体を支援する
- 工場・事業者などへの環境保全思想の普及・啓発を進める
- 市民に対しエネルギーや資源を大切に生活スタイルの普及・啓発を進める
- 環境に関する学習機会を充実する
- 環境に関する情報提供を充実する
- その他（ご自由にお書きください）

問 16【市民協働】あなたは、地域のまちづくり活動やボランティア活動、NPO活動、市が呼びかけた市民参加型事業に参加、参画していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- はい —————▶ 問 16 - 1へ
- いいえ —————▶ 問 16 - 2へ

問 16 - 1 問 16で を選んだ方に伺います。あなたが参加、参画しているのはどのような活動ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- 市が呼びかけた市民参加型事業（例：花のボランティア、イベント運営ボランティアなど）
- 町内会・PTA・子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など
- 福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成などのボランティア活動
- 新たな社会的課題の解決に向けて取り組むNPO（非営利組織）の運営  
（例：環境保全活動、在宅介護支援、学童保育、IT化支援、人権擁護、災害救援活動など）
- その他（具体的にお書きください）

問 16 - 2 問 16で を選んだ方に伺います。今後、これらの活動に参加、参画したいと思いますか。  
（ア）か（イ）のうち、あてはまるものを1つだけ選び、それぞれの設問に答えてください。

（ア）はい —————▶ それはどのような活動ですか。あてはまるものすべてを選んでください。  
市が呼びかけた市民参加型事業（例：花のボランティア、イベント運営ボランティアなど）  
町内会・PTA・子ども会の役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など  
福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成などのボランティア活動  
新たな社会的課題の解決に向けて取り組むNPO（非営利組織）の運営  
（例：環境保全活動、在宅介護支援、学童保育、IT化支援、人権擁護、災害救援活動など）  
その他（具体的にお書きください）

（イ）いいえ —————▶ それはなぜですか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。  
興味はあるが、時間的余裕がない  
興味はあるが、きっかけや情報がない  
興味がない  
その他（具体的にお書きください）

問 17【男女共同参画】男女が互いに人権を尊重しつつ責任を分かちあい、家庭や地域、職場などでその個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現のために、横須賀市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

- 企業などに対し、男女が対等に役割を担えるような環境整備を働きかける
- 企業などに対し、男女がともに仕事と家庭が両立できるような環境整備を働きかける
- 保育所や学童クラブなど、子育て支援を充実する
- 学校での男女平等についての教育を徹底する
- 男女ともに様々な分野に参画するための講座・セミナーを開く
- 市の各種審議会委員など、施策を決める場に女性の参画を進める
- 市が率先して男女共同参画モデル事業所づくりを推進する
- 暴力による被害者の救済、自立に向けた支援を行う
- その他（ご自由にお書きください）

問 18【情報化】横須賀市のホームページで充実してほしい機能は、どのようなものですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

- 市政の情報公開・情報開示
- イベントや行事の案内
- 市役所への届出などの手続き
- 苦情や相談の対応
- 市民からの市政への提案受付
- 特になし
- その他（ご自由にお書きください）

問 19【施設に対するニーズ】現在お住まいの地域に特に不足していると感じている施設は、何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。また、具体的な施設名があればお書きください。

- 歴史や科学、芸術などにふれることのできる文化施設
- イベント施設・交流施設
- 学校などの教育施設
- 病院などの医療施設
- デパートやスーパーなどの商業施設
- バスや電車などの乗り場
- 公営住宅や良質な賃貸住宅
- 市民活動サポートセンターのような市民活動支援施設
- 地域のコミュニティ施設
- 不足している施設は特になし
- 保育園、子育て支援センターなどの子育て支援施設
- 図書館などの生涯学習施設
- 運動場、テニスコートなどのスポーツ施設
- 高齢者や障害者などの福祉施設
- 道路、上下水道などの施設
- 自然と親しむことのできる公園緑地などの施設
- その他

問 20【施設の機能強化・建て直し】現在ある市が設置している施設で機能強化または建て直しが必要と思う施設はありますか。次の中から必要度が高いと思うものを2つまで選んでください。

- 行政センター
- 保育園
- 図書館
- 青少年の家（みんなの家）
- その他（具体的にお書きください）
- 小・中学校
- 病院、救急医療センターなどの医療施設（具体的にお書きください）
- 体育館、プールなどの運動施設（具体的にお書きください）
- 老人福祉センター

問 21【情報の入手先】あなたは、日常生活の中で役立つ情報をどのようなものから手に入れることが多いですか。次の中から主なものを3つまで選んでください。

テレビ	ラジオ	広報よこすか	広報よこすかお知らせ版
新聞・チラシ	雑誌	本	ポスター・看板・掲示板
ダイレクトメール	メールマガジン	横須賀市コールセンター	
インターネット（パソコンでの利用）		インターネット（携帯電話での利用）	
その他（具体的にお書きください）			

問 22【米軍基地について】横須賀市内にある米軍基地について、どのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

あった方がよい	—————▶	問 22 - 1 へ
やむを得ない	—————▶	問 23 へ
ない方がよい	—————▶	問 22 - 2 へ
どちらでもない	—————▶	問 23 へ
わからない	—————▶	問 23 へ

問 22 - 1 問 22 で を選んだ方に伺います。 を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

日本の安全上必要だから	地域の経済に貢献しているから
国際親善、国際交流に役立っているから	災害が起こった時に心強いから
その他（ご自由にお書きください）	

問 22 - 2 問 22 で を選んだ方に伺います。 を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから  
市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから  
横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから  
犯罪や事故が心配だから  
その他（ご自由にお書きください）

問 23【自衛隊基地について】横須賀市内にある自衛隊基地について、どのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

あった方がよい	—————▶	問 23 - 1 へ
やむを得ない	—————▶	問 24 へ
ない方がよい	—————▶	問 23 - 2 へ
どちらでもない	—————▶	問 24 へ
わからない	—————▶	問 24 へ

問 23 - 1 問 23 で を選んだ方に伺います。 を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

日本の安全上必要だから	地域の経済に貢献しているから
国際親善、国際交流に役立っているから	災害が起こった時に心強いから
その他（ご自由にお書きください）	



問 23 - 2 問 23 で を選んだ方に伺います。 を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを 1つだけ選んでください。

戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから  
市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから  
横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから  
犯罪や事故が心配だから  
その他（ご自由にお書きください）

問 24【政策の優先度】10年後、20年後の将来、横須賀市が元気で夢のもてる都市であるためには、限りある財源や人材の中で、今後どのような政策に積極的に取り組むべきだと思いますか。次の中から重要と思われる順に3つ選んでください。

地域経済の振興	子育て支援
障害者福祉支援	高齢者福祉支援
市民生活の安全・安心の向上	学校教育の充実
生涯学習の充実	環境対策
市民協働型まちづくりの推進	男女共同参画の推進
情報化の推進	都市基盤（道路・施設など）の整備
可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	

【統計処理のために必要な情報ですので、全員の方がお答えください。】

## あなた自身のことについて伺います

次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。

F 1 <性別>

男性                      女性

F 2 <年齢>

15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳
35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
75歳以上			

F 3 <お住まいの地域> (次ページに地域別一覧表がありますのでご参照ください。)

本庁地域	追浜地域	田浦地域	逸見地域	衣笠地域
大津地域	浦賀地域	久里浜地域	北下浦地域	西地域

F 4 <職業>

農林漁業	自営(商店・工務店・工場等)
自営(サービス業)	会社員・公務員(事務職・専門職・管理職)
会社員・公務員(販売/サービス)	会社員・公務員(保安・運輸/通信・建設/労務)
自由業	家事専業
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	学生
無職	その他

F 5 <世帯の状況> (複数回答可)(該当がない場合は、回答欄は空欄でお願いします。)

0歳～14歳の子供がいる                      65歳以上の高齢者がいる  
単身世帯(一人暮らし)

F 6 <横須賀市に住んでいる年数>











1年未満	1～3年	4～9年	10～14年
15～19年	20～24年	25年以上	

F 7 <現在の住宅の形態>

持ち家	一戸建て	中高層集合住宅	その他の持ち家
借家	一戸建て	民間のアパート	民間のマンション
	UR(旧公団)・公社の借家	公営の借家	社宅・官舎
	間借り	その他の借家	

《 調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。 》

地域別一覧表

(町名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	 <u>本庁地域</u>
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	 <u>追浜地域</u>
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	 <u>田浦地域</u>
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	 <u>逸見地域</u>
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	 <u>衣笠地域</u>
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	 <u>大津地域</u>
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀町、二葉、南浦賀、吉井	 <u>浦賀地域</u>
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	 <u>久里浜地域</u>
粟田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	 <u>北下浦地域</u>
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	 <u>西地域</u>



## 横須賀市民憲章

私たちの横須賀は、海と緑に恵まれた自然と世界に開かれた交流の歴史のもとで、魅力ある都市をめざし、常に新しいまちづくりに挑戦する気概を身につけてきました。

21世紀を迎え、私たちは中核市としての新たな出発を機に新しい時代の先駆けとしての意欲を持ち、市民、企業、行政が共に手を携え、郷土の歴史と文化を尊重し、さらに魅力あるまちづくりをすすめるためにこの憲章を定めます。

- 1 すべての国々や人々との交流を深め、国際社会に貢献します。
- 2 海と緑の豊かな自然を守り、うるおいと活気のあるまちをつくれます。
- 3 子どもが健やかに育ち、だれもが生きがいを持てるまちをめざします。
- 4 お互いに助け合い、すべての人々が安心して生活できる地域社会を築きます。
- 5 災害に強い、安全で暮らしやすいまちを実現します。

(平成13年12月18日議決)

## 基本計画策定のための市民アンケート 報告書

発行日：平成20年（2008年）9月

編集 横須賀市都市政策研究所  
〒238-8550  
横須賀市小川町11番地  
電話046-822-8330  
e-mail: [upi-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:upi-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp)  
URL: <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/upi/>

発行 横須賀市  
〒238-8550  
横須賀市小川町11番地  
電話046-822-4000（代表）



YOKOSUKA CITY  
SINCE 1907



横須賀が大好き!